

平成18年度版

TOURISM OF SAPPORO

札幌の観光

Welcome to Sapporo

ようこそ

きらめく四季の

札幌へ

札幌市

目 次

第1章 札幌市の観光への取り組み

- 1 札幌新まちづくり計画 1
- 2 平成18年度観光文化局観光部の機構・職員数 9
- 3 平成18年度観光部の事業概要 10
- 4 トピックス 17

第2章 観光客の入り込み状況

- 1 調査方法について 19
- 2 平成17年度の動向 19
- 3 観光客の入り込み状況 20
- 4 交通機関別入り込み状況 22
- 5 日帰り・宿泊客別入り込み状況 23
- 6 道内客・道外客別入り込み状況 24

第3章 宿泊施設

- 1 宿泊調査の概要 25
- 2 宿泊施設の状況 26
- 3 宿泊施設利用状況 27
- 4 外国人の宿泊状況 30
- 5 修学旅行生の宿泊状況 34

第4章 イベントとコンベンション

- 1 札幌でのイベント開催状況 36
- 2 札幌でのコンベンション開催状況 42

第5章 参考資料

- 1 観光施設の利用状況 43
- 2 定期観光バス利用者数（北海道中央バス） 45
- 3 札幌発着航空路線 46
- 4 気象概況 47
- 5 札幌観光のあゆみ 48
- 6 平成18年度のイベントカレンダー 50

第 1 章 札幌市の観光への取り組み

1 札幌新まちづくり計画

「札幌新まちづくり計画」は、平成 16 年度から 18 年度までを計画期間とした札幌市のまちづくりのプランです。この計画は、市民と市が共有する理念や指針を基に、取り組みを進めていくため、まちづくりの理念や指針を表す「ビジョン編」と、ビジョン編に基づいて市が重点的に実施する事業を計画化する「重点事業編」の 2 編構成となっています。

この計画では、市民にとってのより身近な将来像を「市民生活の姿」として描くとともに、都市の構成員が協働してまちづくりを進めるうえで、各主体に期待される主な役割についても示しています。また、行政が担う役割を踏まえて、札幌市が計画期間内に重点的に取り組む事柄を「施策の基本方針」として掲げ、その具体的な内容を「施策」として記述しています。

この計画においては、「協働による観光振興とコンベンション事業の推進」が 17 の重点戦略課題の一つに設定されていますが、その具体的な内容は以下のとおりです。

重点戦略課題 協働による観光振興とコンベンション事業の推進

《市民生活の姿》

四季が織りなすゆたかな魅力に恵まれた観光都市としての優位性を一層高め、まちが人々を引きつけ、迎える市民のおもてなしでもう一度訪ねたくなるまちになっています。さらに、国内外の人々の交流を演出する多くのコンベンション^注の開催で、活気があり新たな市民文化をはぐくむまちになっています。

《現状と課題》

■ 観光客の入り込み状況

札幌を訪れる観光客は、昭和 61 年度から平成 3 年度まで急速な伸びをみせた後、バブル経済崩壊の影響もありいったんは低下しました。その後は持ち直したものの、近年は、1,300 万人程度で推移しています。

また、海外からの来客は、延べ宿泊者数でみると、平成 5 年度は 90,205 人で、その 10 年後の平成 14 年度は 232,072 人と 2.6 倍に増加しましたが、都道府県別の海外来客の訪問率をみると、平成 14 年度で 9.1%（7 位）となっています。

観光やビジネスなどで、より多くの方々が札幌を訪れることは、札幌の基幹産業ともいえるすそ野の広い集客交流産業^注に活況を生み、それが広い分野に波及し、雇用の機会が増えるなど地域の経済振興にとって有力な手段になります。さらに、市民と訪れた方との交流が盛んになることで、新たな文化の創出などさまざまな効果が期待できます。そこで、現状の来客数を飛躍的に高めていくことが、札幌にとって大きな課題となっています。

札幌への観光客の入り込み時期をみると、夏場や年末年始、雪まつり時期などに集中し、この期間のホテルの客室稼働率は高いが、これらの時期以外は、限られた来札者を奪い合う厳しい価格競争が展開され、利益を生み出しにくい状況にあります。

このため、年間を通じて安定した集客につなげていくことが、本市の集客交流産業全体にとって大きな課題となっています。

注) コンベンション：大会、会議、展示会、見本市、イベントなどの非日常的な人の集まりを核として、人や物、知識、情報、技術を呼び込むしくみ。

注) 集客交流産業：来客への直接的なサービス提供（主なものは、飲食、買い物、レジャー、コンベンション、交通、宿泊）に関連する産業や来客への情報提供（主なものは、観光企画、情報メディア、印刷、通訳）に関連する産業を指す。

■ 集客交流資源の活用・新たな発掘

札幌には、藻岩山などのゆたかな自然や新鮮な食材、定山溪温泉、四季折々の祭りやイベントに加え、札幌コンサートホール（キタラ）、札幌ドーム、モエレ沼公園など数多くの集客交流資源があります。今後は、来客数を増加させるために、それらにふさわしい付加価値づくりや観光ツアーコースの開発などにより、芸術・文化、スポーツなどのハード・ソフトの資産を積極的に活用し、市民と来客が共に楽しめる新たな魅力を発掘する必要があります。

■ ホスピタリティ^注の充実

札幌への来客数を増やしていくためには、まず市民一人ひとりの温かいおもてなしの心と交流に寄せる熱意をはぐくむとともに、各企業がそれぞれの立場で、また、いろいろな機会を通じて、外国人をはじめとする旅行者を温かく迎える環境を整えていく必要があります。

国内外の観光先進地と比べ、旅行者に対する歓迎メッセージや、外国語標記が少ないこと、旅行者のニーズに対応した観光情報の提供などが必ずしも十分でないことから、市民、関係業界、行政が一体となってホスピタリティの一層の充実を図っていく必要があります。

注) ホスピタリティ：来客に対して、受け入れ側の人々が気持ちよく接し、快適で強い印象と深い満足感を与え、再び訪れたいくなるようにさせる心のこもったおもてなし

■ コンベンション誘致・支援の強化

集客効果の高いコンベンション誘致をめぐる都市間競争が激しくなる中で、平成15年6月に、札幌コンベンションセンターがオープンしました。今後より一層、経済効果の高い大規模コンベンション、都市の知名度アップにつながる国際コンベンション、参加者と市民の交流が図られる社会的効果の高いコンベンションの誘致を推進する必要があります。

●札幌での主なコンベンション（実績）

年	開催月日	名 称	参加国・人数
H12	11.6— 11.11	第55回国際青年会議所世界会議	102 地域 8,000 人（海外 1,500 人）
H14	6.1—6.7	2002 ワールドカップサッカー大会	—
	10.13— 10.18	第6回DPI（障害者インターナショナル）世界会議	110 カ国 3,113 人（海外 844 人）
H15	6.30—7.11	国際測地学・地球物理学連合総会（IUGG）	77 カ国 4,645 人（海外 2,158 人）
	10.31—11.7	アジア野球選手権（兼アテネ五輪予選）	7 カ国・地域 250 人

■ 道内各市町村との連携

札幌は、北海道の交通網の要衝となっていることから、観光やコンベンションの拠点機能の一層の強化を図る必要があります。また、道内の魅力的な観光地との連携や協力を一層進め、誘致宣伝活動の共同化や情報のネットワーク化、周遊ルートの開発を進めることにより、北海道観光の魅力を高めるとともに、札幌での滞在期間の延長を促す必要があります。

《各主体の主な役割》

市 民 ・ NPO 等	・ 来客を温かく迎えるおもてなしの実践 ・ 地域の魅力づくりへの参画 ・ ボランティアの育成と自立化の支援 など
企 業 等	・ 観光商品の開発、誘致宣伝活動 ・ 観光客などへのより良いサービスの提供 ・ 観光都市を支える人材の育成 など
関係団体	・ 国内外向けの誘致宣伝活動 ・ 観光関係者の資質の向上 ・ 観光資源の保護・活用の促進 など
大学等	・ 観光（情報）に関する研究者などの人材育成 ・ 集客交流に関する研究情報の発信 ・ 企業、行政との共同調査・研究 など
行 政	・ 市民、NPO、企業、関係団体などとの連携促進や支援 ・ 国・北海道・他市町村との連携促進による施策展開 など

《施策の基本方針》

世界の集客交流都市さっぽろの実現に向けて、札幌の基幹産業の一つである観光やコンベンションの一層の振興に努めていきます。

道内各市町村との連携や市民・企業との協働により、まち全体で誘致・PRやホスピタリティあふれるおもてなしを進めるとともに、芸術や地域文化などのハード・ソフトの資産を集客交流資源として積極的に活用しながら、札幌独自の魅力づくり、情報発信を進め、将来目標として来客2,000万人を目指します。

《施策》

■ 集客交流都市としての魅力の発信

年間を通じて繰り広げられる祭りやイベントなどさまざまなエンターテインメントが楽しめる都市と鮮やかな四季の変化やゆたかで美しい自然とを融合させた札幌独自の魅力づくりを進め、集客交流資源として積極的に活用していきます。

このような札幌独自の魅力を生活文化も含めて国内外に情報発信するシティPR^注を積極的に展開します。

また、映画などのロケーション誘致を推進する「フィルムコミッション^注事業」を展開するなど多角的に本市のイメージアップを図ります。

注) シティPR：都市の知名度やイメージの向上を図るための各種PR。

注) フィルムコミッション：映画、テレビドラマ、CM撮影などにおけるロケーションをスムーズに進めるためのさまざまな情報やサービスを提供する支援組織で、自治体の一部署や民間団体または両者の協力期間で組織する非営利組織。

事業名	事業内容	事業費	備考
芸術・文化を活用したまちの魅力発信事業	札幌の芸術・文化を新たな観光資源として活用し、イサム・ノグチ、モエレ沼公園などをテーマにした誘致プロモーション（宣伝活動）を実験的に展開します。	16 百万円	● 観光業界向けセミナー開催 ● 広告宣伝媒体の作成 など
さっぽろフィルムコミッション事業	札幌の持つ自然や街並み、歴史や市民文化などの都市の魅力を国内外に発信するとともに、札幌における映像文化の振興を図るため、映画、テレビなどのロケーションの誘致や支援を進めます。	73 百万円	● 市民エキストラ^注育成 ● 海外向けロケ誘致活動 など
映像を活用したまちの魅力発信事業	映像ロケーション都市としての札幌の魅力を発信し、また、札幌における映像文化の振興を図るため、在札若手映像作家によるロケーション地（撮影場所）のショートストーリー（短編映画）制作、紹介を行います。	5 百万円	
「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」開催費負担	姉妹都市ミュンヘン市の年中行事であるクリスマス市を、ホワイトイルミネーションの実施に合わせて大通公園で開催し、ミュンヘンの文化を身近に感じる冬の集客交流イベントとして推進します。	36 百万円	● 実行委員会に対する負担金
都心にぎわいづくり事業	大道芸を中心とした秋のイベント「だい・どん・でん！」や、既存イベントにパフォーマンス ^注 を付加したり新たなイベントを行う「都心にぎわいづくり事業」に対して、事業費の補助を行います。	45 百万円	
集客交流・シティPRキャンペーン（ビジュアルプロジェクト）	市民、企業と協働して、戦略的にPR冊子を配布したり、市民自らがポストカードにより来札を呼びかけるなど、札幌のさまざまな魅力を視覚に訴え、来札意欲を高める事業を展開します。	90 百万円	

国内観光プロモーション	首都圏、関西圏、地方中核都市などのマスコミ、観光事業関係者、一般市民などを対象として、イメージ発信、宣伝、旅行商品開発支援などを行います。	34 百万円	
首都圏シティPR事業	観光客、コンベンション等の誘致、都市のイメージを向上させるため、各種媒体の効果的な利用や集客イベントなどを通じた首都圏でのシティPRを推進します。	79 百万円	
ノルディックスキー世界選手権札幌大会を活用したシティPRおよびおもてなし事業	2007年ノルディックスキー世界選手権札幌大会およびプレ大会の開催に合わせて、札幌の魅力を積極的にPRするとともに、臨時観光案内所を設置するなどおもてなし事業を行います。	3 百万円	
国際観光誘致事業	中国、韓国をはじめとする東アジアを中心にオセアニアを加えた地域を対象として、イメージ発信、宣伝、旅行商品開発支援などを行います。	37 百万円	
東アジア都市間交流推進事業	東アジア地域との都市間交流を推進するため、中国、韓国から映像文化などの分野のキーパーソン(中心人物など)を招いて両国の文化を紹介するイベントを行うとともに、両国の都市で札幌の都市PRを行います。	10 百万円	

注) エキストラ：映画、演劇などで、群集シーンなどに、臨時に雇われる出演者。

注) パフォーマンス：街頭などで行う演技、演劇、演奏などの表現。

■ ホスピタリティ向上の推進

このまちが好きだからこそ温かく迎えたい。そんな心温まる「おもてなし」の気持ちを、札幌の新たな集客交流資源として活用します。そのために、さまざまな機会をとらえ、まちぐるみで観光案内機能や外国語標記の充実、市民、企業へのPRや研修の実施など、ホスピタリティの向上への取り組みを推進します。

事業名	事業内容	事業費	備考
集客交流・シティPRキャンペーン（おもてなしプロジェクト）	市民、企業と協働して、市民のおもてなし意識を高める事業や来訪者に歓迎の気持ちを表す事業など、まち全体で来訪者を温かく迎える事業を展開します。	46 百万円	● おもてなし広告宣伝 ● ウェルカムフラッグ（歓迎のための旗）掲出 ● 観光ボランティア研修 など
ホスピタリティ育成支援事業	観光ボランティアの一層の質の向上を図っていくため、観光業界を対象としたホスピタリティ研修などに対して事業費の補助を行います。	6 百万円	

■ コンベンション誘致・支援の推進

札幌コンベンションセンターを中心にホテルなど他のコンベンション施設との連携を強化し、札幌ならではの利便性とサービスの向上、さらにはアフターコンベンション^注の充実に努めます。また、行政や民間を問わずオール札幌としての機動的な誘致活動やさまざまな支援体制を整備し、経済効果の高い大規模なコンベンションや国際コンベンション、社会的効果の高いコンベンション誘致を推進します。

注）アフターコンベンション コンベンションの後の観光旅行や視察・体験実習など

事業名	事業内容	事業費	備考
集客交流・シティPRキャンペーン（コンベンションプロジェクト）	市民、企業と協働して、市長による直接の誘致活動など、国内外から会議やイベントを積極的に誘致する事業を展開します。	50 百万円	● インセンティブツアー^注誘致支援 ● テクニカルツアー^注支援 ● 海外現地広告媒体買取広告掲載 など

注）インセンティブツアー 企業や団体が、内部の活性化や長期的な観点からの販売戦略として、社員や関係者の販売意欲の向上のために招待する団体旅行。

注）テクニカルツアー 工場、店舗などのビジネスの現場や関連する博物館等の施設の視察や関係者による説明・紹介などを含む旅行。

■ 住んで快適、訪ねて楽しいまちづくりの推進

集客交流資源の発掘・活用を図るため、都心の整備や美しい都市景観の形成、藻岩山、定山溪温泉などのゆたかな自然環境や市内各所に残る歴史的資産の保全・活用など地域の魅力づくりを目的とした主体的なまちづくり活動に対し、さまざまな側面からの支援を実施します。

また、情報の共有化や相互連携などを図りながら、住んで快適、訪ねて楽しいまちづくりを推進していきます。

事業名	事業内容	事業費	備考
藻岩山観光魅力アップ構想推進	重要な観光資源である藻岩山の魅力向上に向けて、市	12 百万円	

	民議論を行いながら基本構想の策定を行い、市、事業者の適切な役割分担のもと、事業計画の策定などを行います。		
定山溪温泉活性化補助	定山溪地区の観光活性化に向けた自主的なまちづくり活動や、来客誘致のためのPR、受入体制づくりなどのソフト事業に対して事業費の補助を行います。	9 百万円	
国際化推進プラン推進事業	外国人も暮らしやすい環境づくりを進めるため、外国人市民の生活に必要な情報提供を充実するとともに、外国人も参加する市民会議により国際化のまちづくりについて検討します。	12 百万円	

■ 道内各市町村と連携した魅力の発掘・アピール

札幌は、北海道の交通網の拠点となっていることから、今後は、他の道内観光地域との連携や協力を一層進め、情報のネットワーク化など先導的な役割を担っていきます。また、札幌や北海道がもつさまざまな独自の魅力を国内外に強力にアピールし、来札意欲を高めるとともに、札幌での滞在期間の延長につながる体験型・滞在型観光の振興に取り組みます。

事業名	事業内容	事業費	備考
札幌ビジターズセンター事業	国内外から札幌を訪れる来客に対し、道内観光情報の発信などを行うおもてなしの中核拠点、「さっぽろビジターズセンター」に対する支援を行います。	—	
フードランド北海道開催費補助	道産食材の消費拡大、観光客誘致の促進、関連産業の活性化を目的に、地産地消をテーマとしたさまざまなイベントを実施する「フードランド北海道」事業に対し、事業費の補助を行います。	30 百万円	
丘珠空港整備と空港周辺のまちづくり事業	丘珠空港の道内航空網の拠点空港としての機能を保持するため、整備費の一部を負担するとともに、空港緑地の整備など丘珠空港周辺のまちづくり構想に基づく事業を実施し、空港と調和したまちづくりを進めます。	3,477 百万円	● 丘珠空港整備事業負担金 ● 空港緑地整備事業 南東地区(継続) 北西北東地区 (新規)

《成果指標》

	(現状値)		(目標値)
● 年間来客数	1, 325 万人	(H14) ⇒	1, 500 万人 (H18)
			(将来目標は 2, 000 万人)
● 来客の満足度	84.5%	(H14) ⇒	90.0% (H18)
● ボランティア体験参加者数 (延べ人数)	3, 609 人	(H14) ⇒	10, 000 人 (H18)
● コンベンション誘致件数	608 件	(H15) ⇒	1, 000 件 (H18)

2 平成18年度観光文化局観光部の機構・職員数

局長	部長	課長	係長	係員
観光文化局長	観光部長	観光企画課長	庶務係長	3名
			計画担当係長	1名
			観光資源担当係長	1名
		シティPR担当課長	シティPR担当係長	2名
			シティPR担当係長	2名
			受入推進担当係長	2名
		事業調整担当課長	事業係長	4名
			事業調整担当係長	
		定山溪地区担当課長	定山溪地区担当係長	
		課長職（財札幌国際プラザ派遣）		
1名	1名	5名	9名	15名
合計職員数 31名				

3 平成18年度観光部の事業概要

○来札観光客入り込み等の調査分析及び情報提供【計画担当】

札幌市への来札観光客の入り込み状況や宿泊施設の利用状況などを、札幌市の交通機関や宿泊施設に調査を依頼し、その回答を取りまとめて、本書「札幌の観光」やインターネットによって情報提供を行っています。

札幌の観光行政（観光統計データ）

<http://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/statistics/statistics.html>

○集客交流促進に関する企画、調査、研究【計画担当】

札幌の観光行政（計画・調査レポート）

<http://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/program/program.html>

平成18年度は以下の調査を行っています。

来札客の満足度調査

来札客の満足度を視点に、観光都市としての札幌の受け入れ体制の現状と課題を把握するとともに、今後の集客交流促進施策の検討のために、来札客に対するアンケート調査を行っています。

○札幌旅行商品造成支援会議の開催【計画担当】

首都圏の旅行代理店の旅行商品企画担当者と札幌の観光関係事業者により構成される会議です。札幌圏の観光関係事業者が、札幌圏の観光の新たな素材を、旅行商品企画担当者に紹介し、意見交換を進めることによって、札幌圏の新しい魅力を組み込んだ、首都圏から札幌圏への旅行商品の造成を目指しています。

○定山溪観光客来客誘致関連補助【計画担当】

定山溪地域では、観光協会、事業者、地域住民等により、「定山溪まちづくり委員会」を設置し地域の活性化について検討を行い、平成15年度にはビジョン、平成16年度にはアクションプランを策定しました。

本年度は、このアクションプランに基づき、「山野草 湯の里 定山溪」のコンセプトの下、温泉街の活性化を目指す地域の取り組みに支援を行います。

○藻岩山魅力アップ構想推進事業【観光資源担当】

藻岩山は眺望、夜景のスポットとして札幌を代表する集客交流資源です。しかしながら、当初の整備から相当期間を経過したことなどから藻岩山の持つ魅力が十分発揮されていない状況にあります。そこで、平成16年度は、有識者、公募市民で構成される懇談会や市民フォーラム等を行い藻岩山の魅力アップについて検討を行い、17年3月に懇談会の提言が報告書としてまとめられました。

本年度は、懇談会の提言に基づき、「5月31日は藻岩山の日」など藻岩山の魅力を高めるソフト事業を推進していくとともに、提言の具体化を図るため、ソフト・ハード面でさるなる検討を行います。

○コンベンションの誘致・支援施策の調査・企画【シティPR担当】

- ・大規模・国際的なコンベンション（例：日本医学会総会、その他政府系国際会議など）の誘致に向けた関係者（道 経済団体 企業等）との意見交換や調整を図るなど、戦略的な誘致に向けた取り組みを行っています。

- ・コンベンション誘致促進助成金制度の整備・運用や、観光施設割引クーポン付ガイドブックの提供、割引地下鉄１日乗車券「Ａカード」の販売等を通じて、参加者のアフターコンベンションを促すなどコンベンション推進施策を実施しています。
- ・戦略的なコンベンション誘致を行うため、コンベンションビューロー、コンベンションセンター、東京事務所との情報共有や連携を図っています。
- ・国レベルの誘致推進機関である独立行政法人国際観光振興機構（ＪＮＴＯ）や日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー（ＪＣＣＢ）との事業連携を図っています。

○財団法人札幌国際プラザコンベンションビューローとの連絡調整【シティＰＲ担当】

コンベンションビューローへの補助金を交付するとともに、コンベンション誘致に係る事業実施において、市長招聘状の発行、キーパーソン招聘時の表敬対応などの調整を行っています。

※「コンベンションビューロー」は、コンベンション誘致を誘致するため、誘致段階（誘致プレゼンテーション資料の提供、招聘状の送付など）、開催段階（コンベンション運営の手伝い、ボランティアの派遣）等の事業を主な活動として行う非営利の推進機関です。

○「札幌コンベンションセンター」の運営管理【シティＰＲ担当】

指定管理者制度の導入に伴い、平成１８年４月１日から「さっぽろ施設経営有限責任事業組合」が指定管理者として、札幌コンベンションセンターの運営管理を行っています。

※「指定管理者制度」とは、多様化する住民ニーズに、より効果的かつ効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上を図るとともに、経費の削減等を図ることを目的としています。これにより、これまで、地方公共団体の出資法人等、公共的な団体しか公の施設の管理を行うことができませんでしたが、民間事業者も公の施設の管理を行うことができるようになりました。

○「札幌流通総合会館（アクセスサッポロ）」を運営管理する財団法人札幌産業流通振興協会との連絡調整【シティＰＲ担当】

札幌流通総合会館（アクセスサッポロ）建設費充当金に対する貸付に関する業務などを行っています。

※財団法人札幌産業流通振興協会は、工業製品等の展示会、見本市等の開催、誘致及び施設の管理運営を主な業務とする財団です。

○札幌国際見本市委員会との連絡調整【シティＰＲ担当】

平成１６年度から、見本市委員会事務局を財団法人札幌産業流通振興協会に移管しました。

○「さっぽろフィルムコミッション」との連絡調整【シティＰＲ担当】

さっぽろフィルムコミッションへ補助金を交付するとともに、ロケ実施時における道路、公園、公共施設使用における許可にかかる連絡調整を行っています。（平成１７年度ロケーション誘致・支援件数４８件）

○芸術・文化を活用した街の魅力創造・発信事業【シティＰＲ担当】

本市が持つ芸術・文化、いわゆるアートを街の魅力としてＰＲし、集客につなげていくために、観光資源としてのアートを活用した事業について、事業者に対する支援を行います。

とくに、昨年度グランドオープンしたモエレ沼公園について、公園の魅力を高めPRする事業として、モエレ沼公園グランドオープン1周年事業を支援するほか、南区にある札幌芸術の森での集客に向けたアートイベントの支援を行っています。

○国内マーケットに対する観光誘致宣伝【シティPR担当】

札幌への観光客の入り込みのうち、約44%は道外からの来客であり、消費行動などの経済効果も大きい道外からの観光客誘致に重点的に取り組んでいます。特に、約3,000万人の人口を抱え、札幌への来客数の割合の多い首都圏にむけたPRを中心に、有望なマーケットに対して、誘致宣伝を行います。

(1) ターゲット別国内観光プロモーション事業

首都圏、関西圏及び中部圏において、札幌の観光の魅力を強くアピールし、観光客の誘致促進に結びつけるため、旅行会社及びマスメディア向けにPRを行うとともに、双方向での意見交換を行う「Round-Table about Sapporo Tourism」を開催し、新たな魅力やイメージの発信を行います。

(2) 全国観光と物産展における観光PR

札幌市が主催または後援する全国の百貨店で開催される「北海道の観光と物産展」会場の中で、ポスター掲出、パンフレット配布などを行い、観光PRを展開します。

○海外マーケットに対する観光誘致宣伝【シティPR担当】

近年、海外からわが国への来客者数は、増加する傾向にあります。現在、政府では「ビジット・ジャパン・キャンペーン」を展開し、海外からの来客を倍増させる取り組みを進めており、今後も急速に増加していく可能性を秘めています。

本市では、台湾や香港、韓国、中国など東アジアからの来客が特に多くなっていますが、最近では、シンガポールからの来客や、冬季にはスキーを主目的とするオーストラリアからの来客も増加する傾向にあります。本市では、こうした海外からの観光客をさらに誘致するために、各種のPR事業を展開しています。

(1) 中国観光PRミッションの派遣

官民一体となったPRのためのミッションを中国に派遣し、現地エージェントやマスコミ向けにセミナーや懇談会を行い、PR展開を図っています。

平成17年12月に、上海市と杭州市において実施しました。

(2) 中国キーパーソン招聘事業

札幌の魅力を中国の方々に広く紹介し、観光客誘致を目指すため、中国から、影響力の強いキーパーソンやマスコミ及び旅行企業関係者などを招聘し、取材や商談の支援を行います。

平成18年2月に、杭州市のマスコミと旅行企業関係者15名を招聘する予定です。

(3) シンガポール観光プロモーションの実施

近年、急速に札幌への来客が増えているシンガポールに対して、札幌市長を団長とする官民合同のプロモーション団により、現地旅行会社向けのセミナーや懇談会などの観光プロモーションを行います。

(4) 国際旅行見本市への出展

東アジア地域で開催されている旅行見本市に出展し、札幌の魅力をPRするとともに、旅行商品の企画を促進するよう現地旅行関係企業との連携を深めます。

【平成18年度出展（予定）】 KOTFA（韓国国際観光展）韓国ソウル市
東アジア国際観光博覧会 中国大連市

○PRツールの制作、配布・貸出【シティPR担当】

札幌の観光の魅力を視覚的にアピールしていくために、広報宣伝物を制作し、配布または貸出を行っています。

(1) ビデオ・DVD

本市では、現在、2種類のプロモーションビデオ（DVD）を制作しており、プロモーションの機会などに配布しているほか、国内外観光拠点（国際観光振興機構海外事務所、東京事務所、北海道観光連盟）に常備し、誘致用に活用するとともに、観光情報提供窓口である「カッコウの窓口」において、貸出を行っています。

タイトル	言語	メディア	制作年度
AirSapporoN43°	日本語	DVD	初版：平成12年度 改訂版：平成15年度
歓迎交響曲	日本語、英語、中国語（簡体字、繁体字）、韓国語	DVD、ビデオ	初版：平成13年度 改訂版：平成14年度 再改訂版：平成15年度 再々改訂版：平成17年度

(2) 写真ライブラリー

企業等が札幌の観光ガイドブックやパンフレット制作を行うにあたって、必要となる市内の観光スポット等の写真を保有しており、観光部ホームページ「札幌の観光行政」(<http://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/index.html>)で無料ダウンロードサービスを行うほか、「カッコウの窓口」において、貸出を行っています。

○観光案内所【受入推進担当】

来札客に各種観光情報等を提供するため、市内に観光案内所を設置しています。

常設の案内所の他、観光シーズンに合わせた期間設置の案内所があります。

また、外国人来札客に対しての観光情報提供箇所としての「i案内所」（国際観光振興機構の指定による）があります。

【観光案内所一覧】

名 称	所在地	定休日	営業時間	電話番号
カッコウの窓口 (i指定)	中央区北1西2 市役所2階	土日祝、年末年始	8:45～ 17:15	011-211-3341
さっぽろ観光案内所 ビクターズイン フォ (i指定)	中央区北5西3 ステラ・プレイス センター1階	年中無休	9:00～ 20:00	011-209-5020 ※平成19年2月 1日にJR札幌 駅構内にオー プンする仮称)北海道さっぽろ「食と 観光」情報館内に 移転予定。
大通公園観光案内所	中央区大通西3 丁目	10月中旬～ 4月下旬(春～ 秋季営業)	10:00～ 17:00 (4～5月、 9～10月) 9:00～ 18:00(6 ～8月)	
定山溪観光案内所	南区定山溪温泉 東3丁目	年末年始	9:00～ 17:00	011-598-2012
札幌国際プラザ (i指定)	中央区北1西3 札幌MNビル3 階	年末年始	9:00～ 17:30	011-211-3678

○観光ボランティア【受入推進担当】

市民による観光ボランティアが、大通公園観光案内所（４月２９日～１０月３１日）や、さっぽろ観光案内所、雪まつり会場の案内所で、パンフレットの配布や、観光スポットの紹介、写真撮影などの観光案内を行っています。地元住民ならではの意見が聞けるということで観光客からも好評を得ています。

現在の登録数は２３９名（男７４名 女１６５名）、平均年齢は５８．２歳であり、活動は交代制となっています。

○ホームページ【受入推進担当】

札幌市の観光情報サイトとして「ようこそさっぽろ」を公開しています。

このサイトの運営は、市民・企業・大学（研究機関）・行政が集まり、運営・編集方針を考える委員会方式をとっており、交通機関等の基本情報のほか、イベントなど季節限定の情報を紹介し、毎月更新しています。日本語のほか、英語・中国語（繁体字・簡体字）・韓国語版があります。

また着地旅行者向けには、携帯電話から気軽に情報収集ができる「さっぽろフットナビ！」を公開しています。

ようこそさっぽろ <http://www.welcome.city.sapporo.jp>

さっぽろフットナビ！ <http://www.welcome.city.sapporo.jp/fnv/index.html>



（ＱＲコード）

○観光案内板【受入推進担当】

本市では、魅力ある観光都市の形成の一環として、札幌を訪れる人々のための観光案内板を１８４基を設置しています。

日本語のほか、英語・中国語（簡体字）・ハングルの４カ国語標記とし、外国人の来客にも対応しており、ユニバーサルデザインやピクトグラム（絵文字標記）の採用により利便性に配慮しています。

１７年度については、既存案内板のうち、修繕の必要なものを中心に情報更新を行うほか、中国語（繁体字）の追記を順次行っています。

○観光ガイドブック【受入推進担当】

来札客の利便性を図るため、市内の地図や観光名所などを紹介した観光ガイドブック「さっぽろ観光ガイド」を発行。日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）、ロシア語・ハングルの６カ国分を制作しています。

○観光貸切バス待機場【受入推進担当】

観光バスで来た観光客が街なかを見学している間、バスが路上駐車しなくて済むように、観光バス専用の待機場があり、北海道バス協会が運営しています。

〔場所〕

中央区北１条西９丁目　〔平成１７年度利用台数　１３，２７１台〕

○おもてなしグランプリ【受入推進担当】

来札客を温かく迎えることができるよう、市民のおもてなし意識を高めるため、「おもてなしグランプリ」を平成17年度から実施しています。

18年度は、市民おすすめの記念写真撮影スポットを募集し、入賞作品をまとめた冊子を観光客に配布する予定です。

○ホテルフロント・コンシェルジュ研修【受入推進担当】

来札客と最も身近に接するホテル関係者を対象に、観光施設の視察研修を実施。18年度は、14ホテルから41人の参加がありました。

○各種まつりの企画実施【事業係】

・さっぽろライラックまつり

ライラックの開花時期に大通公園で開催。昭和34年に第1回が開かれ平成18年で48回を迎えました。

・さっぽろ夏まつり

昭和29年に夏の観光名物の新規開拓を目指し誕生。平成18年で53回を迎えました。イベントの中心となっているのがビアガーデンと盆踊りで、都市公園で4大ビールメーカーが一同にビアガーデンを開催するのは全国的にも珍しいものです。

・さっぽろ菊まつり

昭和38年に菊作り愛好者が増える中、小規模な同好会活動が一本化され、全市的なスケールのイベントとして誕生。平成18年で44回を迎えます。さっぽろ地下街のオーロラタウンとポールタウン、地下鉄大通駅コンコースを会場とし、毎年数百点の菊が出展されています。

・さっぽろ雪まつり

昭和25年に始まったこのまつりは、札幌を代表する世界的なイベントで、平成19年で58回を迎えます。

総数300基を超える雪氷像が7日間にわたり市民や観光客を楽しませます。

○各種まつりの連絡調整【事業係】

・YOSAKOIソーラン祭り

平成4年に始まったこの祭りも平成18年で15回を迎え、約200万人の来場者が訪れる札幌の初夏を彩る一大イベントに成長しました。

・さっぽろホワイトイルミネーション

昭和56年に秋の観光シーズンとさっぽろ雪まつりをつなぐイベントとして誕生。平成18年で24回を迎えます。

会場は大通公園と駅前通りで、総数37万個もの電球が飾られ北の街の夜を幻想的に彩ります。

・ミュンヘンクリスマス市

平成14年ミュンヘン市との姉妹提携30周年を記念し開催されました。会場は大通西2丁目で、ミュンヘン市に因んだ物販が行われ、札幌とミュンヘンの国際的な交流の場として市民に親しまれています。

○札幌国際ユースホステルの管理運営【庶務係】

低額な料金で、安全・快適な宿泊を提供する施設として札幌国際ユースホステルを設置しています。

都心から2 km 圏内、地下鉄東豊線学園前駅に隣接しており、観光の拠点として便利な都市型ユースホステルです。

また、付近には道立総合体育センター「きたえる」があり、スポーツ団体等の合宿にも適しています。

〔札幌国際ユースホステル〕

所在地	豊平区豊平6条6丁目5番35号
電話番号	(011) 825-3120
開設年月	平成12年4月
構造／延床面積	鉄筋コンクリート造 地下1階付4階建／1、967.64 m ²
定員／利用期間	120人／通年
管理運営	(財)北海道ユースホステル協会(指定管理者)
宿泊料金等	宿泊3,800円(中学生以下3,300円、4歳未満無料)(冷暖房、シーツ料、税込) 食事(朝食630円)
敷地面積	918.93 m ²
(URL)	http://www.youthhostel.or.jp/kokusai/

4 トピックス

さっぽろ雪まつりに新たに「さとらんど会場」

長年、親しまれてきた真駒内会場に替わり、今回から新たに「サッポロさとらんど」を第2会場として実施しました。

さとらんど会場は、大通会場の大雪像を観る楽しみとは異なり、「北海道ならではの大自然の冬を楽しむ、雪とふれあうことのできる会場」そして「北海道の食を味わうことのできる会場」と、冬の北海道を凝縮した会場となりました。

当会場は、「食」「交流」「遊び」「体験」をコンセプトに開設。雪まつり食堂や屋台村で、おいしい「食」の提供や、雪の大迷路やチューブすべり台、氷のすべり台といった雪や氷で制作したアトラクションで遊びを堪能。雪だるまづくりや熱気球、スノーラフトなどの体験コーナー、市民自らが準備から運営まで携わった企画コーナーなどで、観光客の皆様も含めおおいに楽しみました。また、今回はじめて高校生の雪像制作によるスノーオブジェコンテストを実施いたしました。

雪まつり期間中の来場者は、予想を上回る175,000人に及び、多くの市民、観光客に楽しんでいただきました。



札幌の新たな顔～「スイーツ王国さっぽろ」 スイーツの似合う街・さっぽろ

今、札幌では、スイーツが盛り上がりを見せています。札幌は気候が冷涼で、洋菓子の本場であるヨーロッパに似ており、一年中おいしくスイーツが食べられる街です。

また、北の大地は質の高い鮮度抜群の素材にあふれております。ケーキの材料となるミルク・バターなどの乳製品、卵に小麦粉、果物などの生産地がすぐ近くにあります。

しかも、パティシエ（洋菓子を作る職人）たちは、まだ若い洋菓子文化の中でのびのびと自由な発想でスイーツをつくり出します。

このようにスイーツの似合う街・さっぽろにおいて、平成17年11月に、スイーツを札幌の新たな都市ブランドにしようと、官民一体による「スイーツ王国さっぽろ推進協議会」が設立されました。

同協議会では、プロのパティシエを対象としたコンペティションを行い、さっぽろスイーツ2006としてプリンスホテル・佐藤パティシエの「さっぽろ・いちごタルト」がグランプリとなりました。レシピを公開し、29社62店舗でそれぞれの「さっぽろ・いちごタルト」が誕生しました。平成18年6月には「さっぽろ・いちごタルトスタンプラリー」が開催され、賞品としてケーキ券が贈られました。

コンペティションは毎年行われ、さっぽろスイーツ2007が平成19年1月に発表予定です。これからも、市民や観光客にスイーツの新しい文化と楽しみ方を提供し、全国・世界へ「さっぽろスイーツ」を発信していきます。



J R札幌駅に北海道と一体化した観光案内所オープン

平成19年2月1日、J R札幌駅西コンコースに、北海道の最大の魅力、「観光」と「食」を前面に打ち出した、「観光案内」及び「食の魅力の発信」の拠点、北海道さっぽろ「食と観光」情報館がオープンします。

館内には、北海道と札幌市が一体となった「北海道さっぽろ観光案内所」を設け、札幌市内のみならず道内全域の観光情報を発信し、案内します。また、英語、中国語、ハングルにも対応したり、J R北海道と連携して外国人専用乗車券の販売を行ったりするなど、北海道の玄関口にふさわしい総合的なワンストップサービスを実現します。

そのほか、北海道観光の重要な要素である「食の魅力」を、道産食品の展示、販売を行う「北海道どさんこプラザ札幌店」や道産食材を使った「軽食コーナー」で楽しむことができます。

第1回 日中韓観光大臣会合 in 北海道

平成18年7月1日～3日、日本・中国・韓国の観光大臣が一堂に会し、三国間及び三国外との観光交流拡大の今後の方策等について話し合う、第1回日中韓観光大臣会合が、釧路市、旭川市及び札幌市の3都市で開催されました。

会合では、観光交流拡大に向けて三国が連携を強化していくことが確認され、具体的な方策などを盛り込んだ「北海道宣言」が採択されました。宣言の中では、日中韓域内の観光交流を、2005年の1,200万人から、2010年には1,700万人以上とする目標も設定されています。

また、この会合では、観光大臣や政府関係者だけでなく、延べ3,000人以上の民間交流団や地域住民も参加し、さまざまな交流を通じて相互理解を深めました。札幌でも、歓迎行事のほか、「北海道観光ビジネス・フォーラム」が開催され、各国の観光プレゼンテーションや大商談会など、旅行商品の造成に役立つビジネス交流が行われました。

今回の日中韓観光大臣会合が成功裏に終了したことにより、北海道・札幌の認知度は大きく高まり、国際観光のさらなる発展が期待されます。



第2章 観光客の入り込み状況

1 調査方法について

観光客の入り込み状況調査では、札幌市に乗り入れのある交通機関（乗用車、ＪＲ、航空機、貸切バス、路線バス）の輸送人員に、観光客率などの係数を乗じて算出しています。

観光客率などの係数については、平成１５年度、１６年度の２ヶ年をかけて、春夏秋冬の季節毎に平日と日祝日に動態調査を行い算定しています。

2 平成１７年度の動向

（１）観光客の入り込み状況

平成１７年度に札幌を訪れた観光客は、前年度の１３３０万２千人に対し、１３３２万３千人と、対前年度比で０．２％（２万１千人）微増しました。

（２）入り込み状況の詳細

○道内客・道外客別入り込み状況

構成比では、道内客が５５．６％、道外客が４４．４％と、前年度より道外客が微増しています。

定山溪地域では、道外客が対前年度比で３．３％（２万７千人）増加しています。

○交通機関別の入り込み状況

貸し切りバスによる入り込みが、前年度より１０．２％増加し、路線バスによる入り込みが、前年度より８．４％減少しています。航空機、ＪＲによる入り込みが微増しています。

○日帰り客、宿泊客別の入り込み状況

構成比では、日帰り客が５１．３％、宿泊客が４８．７％と、前年度より日帰り客が微増しています。

定山溪地域では、日帰り客が前年度より１９．８％増加し、宿泊客が６．３％減少しています。

（３）増減の要因

観光客の減少要因としては、愛知万博の開催、世界遺産に認定された知床への観光客の集中、近年にない本州での大雪などがあった。

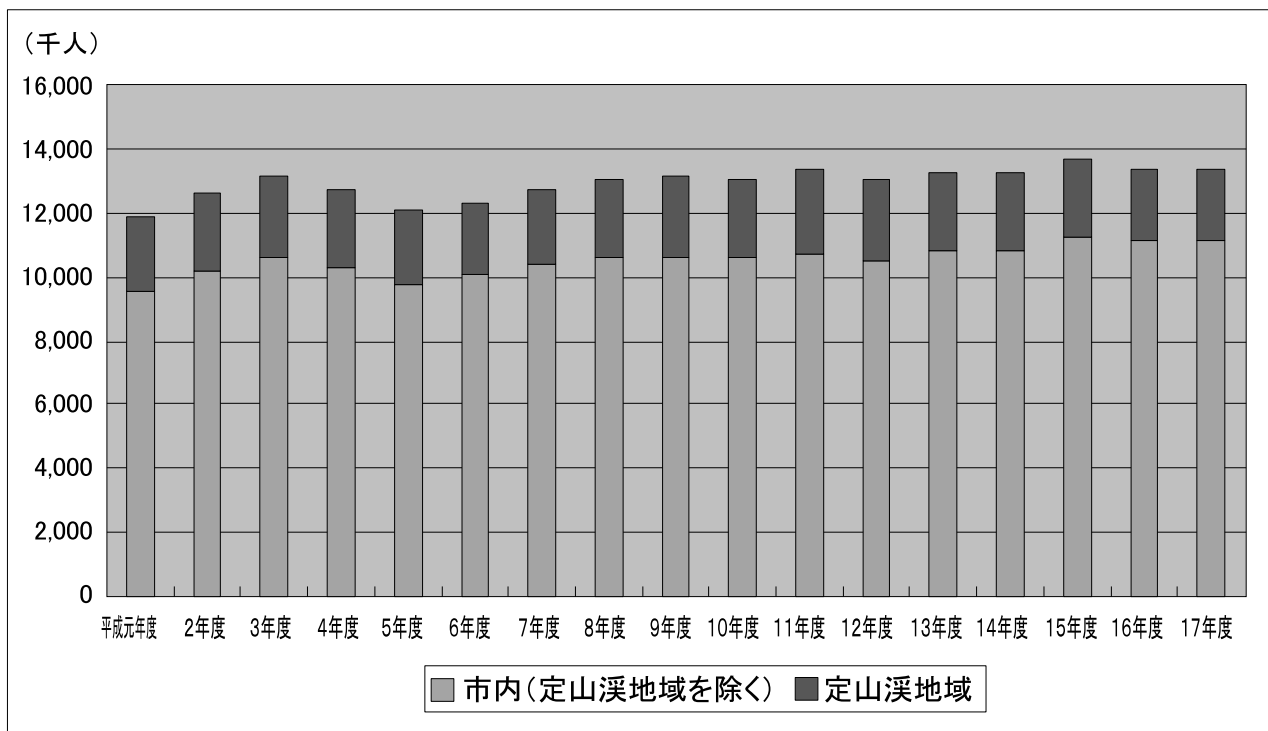
一方で、増加要因としては、過去最高の観客を集めたＹＯＳＡＫＯＩソーラン祭り、モエレ沼公園、札幌芸術の森など芸術文化施設への多くの来場、国内旅行全体の増加傾向などがあった。

以上のことから、全体として、ほぼ前年度と同程度の入り込み数となった。

3 観光客の入り込み状況

来札観光客数の推移

年 度	全 市		定 山 溪 地 域	
	観光客数 (千人)	前年度比 (%)	観光客数 (千人)	前年度比 (%)
平成元年 (1989) 年度	11,847	106.5	2,331	104.5
2 (1990) 年度	12,634	106.6	2,456	105.4
3 (1991) 年度	13,177	104.3	2,535	103.2
4 (1992) 年度	12,736	96.7	2,460	97.0
5 (1993) 年度	12,046	94.6	2,313	94.0
6 (1994) 年度	12,334	102.4	2,316	100.1
7 (1995) 年度	12,696	102.9	2,356	101.7
8 (1996) 年度	13,054	102.8	2,446	103.8
9 (1997) 年度	13,106	100.4	2,468	100.9
10 (1998) 年度	13,081	99.8	2,515	101.9
11 (1999) 年度	13,304	101.7	2,565	102.0
12 (2000) 年度	13,050	98.1	2,517	98.1
13 (2001) 年度	13,280	101.8	2,434	96.7
14 (2002) 年度	13,251	99.8	2,392	98.3
15 (2003) 年度	13,683	103.3	2,439	102.0
16 (2004) 年度	13,302	100.4	2,186	91.4
17 (2005) 年度	13,323	100.2	2,196	100.5



(平成17年度は対前年度で微増しており、平成15年度に次ぎ、過去2番目に多い数字となっています。)

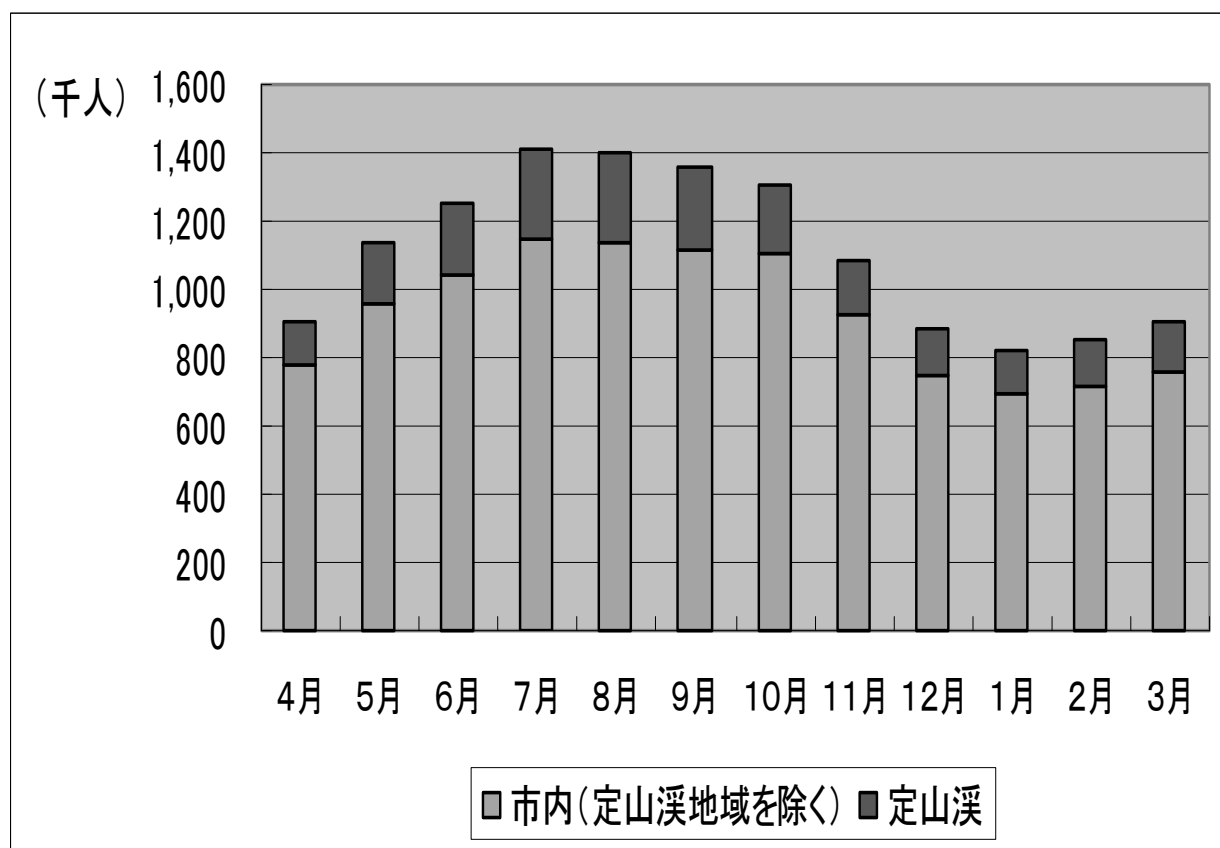
月別入り込み状況

(単位：千人)

各年度中

年 度	年度計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全 市													
13年度	13,280	811	1,166	1,388	1,455	1,609	1,509	1,134	788	806	824	914	876
14年度	13,251	862	1,180	1,321	1,449	1,607	1,473	1,049	782	815	837	920	956
15年度	13,683	877	1,350	1,448	1,575	1,622	1,620	1,046	758	792	818	881	896
16年度	13,302	950	1,154	1,278	1,438	1,449	1,336	1,241	1,045	854	802	848	907
17年度	13,323	910	1,134	1,256	1,412	1,404	1,355	1,309	1,079	884	825	852	903
前年度比(%)	100.2	95.8	98.3	98.3	98.2	96.9	101.4	105.5	103.3	103.5	102.9	100.5	99.6
う ち 定 山 溪 地 域													
13年度	2,434	150	210	235	249	292	262	259	171	139	164	177	126
14年度	2,392	155	222	244	243	295	255	218	158	135	161	163	143
15年度	2,439	148	230	246	254	294	269	219	158	144	166	161	150
16年度	2,186	143	170	218	265	266	222	199	157	135	130	137	144
17年度	2,196	135	180	214	267	263	234	203	155	138	130	134	143
前年度比(%)	100.5	94.4	105.9	98.2	100.8	98.9	105.4	102.0	98.7	102.2	100.0	97.8	99.3

平成17年度の月別入り込み状況



(11月、12月、1月の観光客数の落ち込みが目立ちます。)

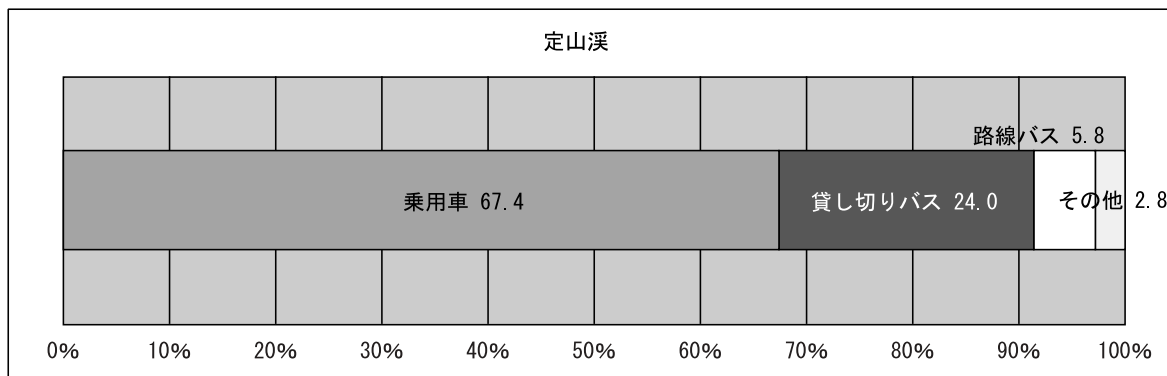
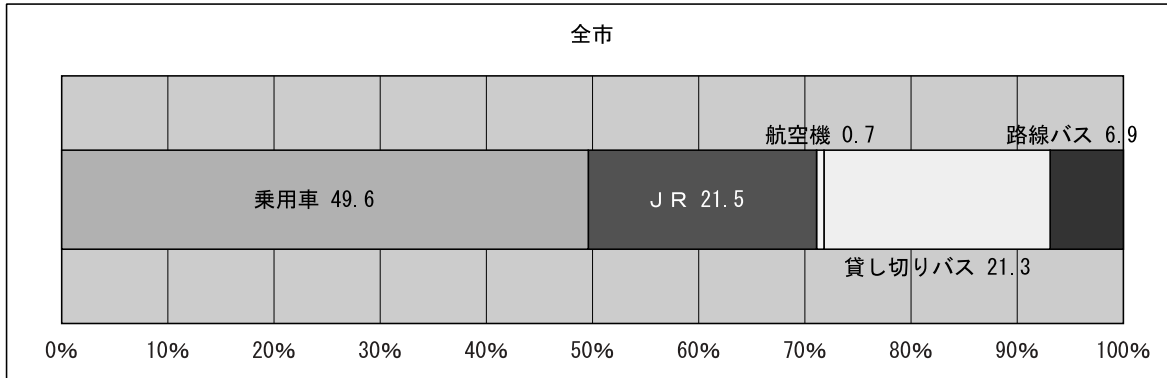
4 交通機関別入り込み状況

(単位 千人、%)

各年度中

年 度	全 市						定山溪地域					
	合 計	乗用車	J R	航空機	貸バ 切ス	路バ 線ス	合 計	乗用車	貸バ 切ス	路バ 線ス	その他	
観 光 客 数												
13年度	13,280	3,967	3,130	3,024	2,657	502	2,434	1,624	654	156		
14年度	13,251	3,859	3,199	3,061	2,673	459	2,392	1,620	626	146		
15年度	13,683	3,878	3,242	2,925	3,162	476	2,439	1,598	640	201		
16年度	13,302	6,798	2,825	95	2,578	1,006	2,186	1,549	443	135	60	
17年度	13,323	6,606	2,857	97	2,842	921	2,196	1,480	527	128	61	
構 成 比												
13年度	100.0	29.9	23.6	22.7	20.0	3.8	100.0	66.7	26.9	6.4		
14年度	100.0	29.1	24.1	23.1	20.2	3.5	100.0	67.7	26.2	6.1		
15年度	100.0	28.3	23.7	21.4	23.1	3.5	100.0	65.5	26.2	8.2		
16年度	100.0	51.1	21.2	0.7	19.4	7.6	100.0	70.8	20.3	6.2	2.7	
17年度	100.0	49.6	21.5	0.7	21.3	6.9	100.0	67.4	24.0	5.8	2.8	
前 年 度 比												
13年度	101.8	98.1	98.7	103.6	112.1	92.1	96.7	94.3	103.6	95.7		
14年度	99.8	97.3	102.2	101.2	100.6	91.4	98.3	99.8	95.7	93.6		
15年度	103.3	100.5	101.3	95.6	118.3	103.7	102.0	98.6	102.2	137.7		
16年度	97.2	175.3	87.1	3.2	81.5	211.3	89.6	96.9	69.3	67.0		
17年度	100.2	97.2	101.1	102.1	110.2	91.6	100.4	95.6	118.9	95.1	102.0	

平成17年度交通機関別入り込み状況（構成比）



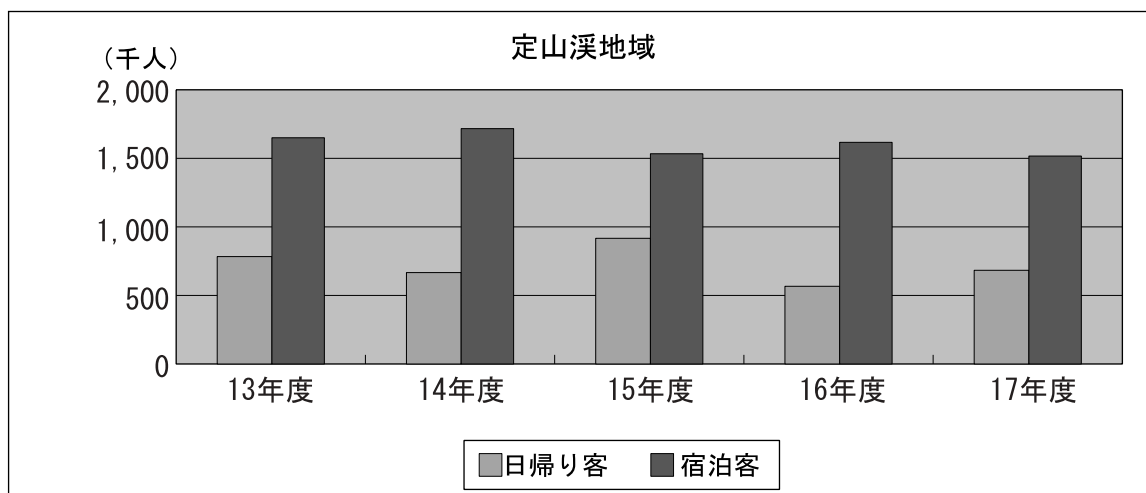
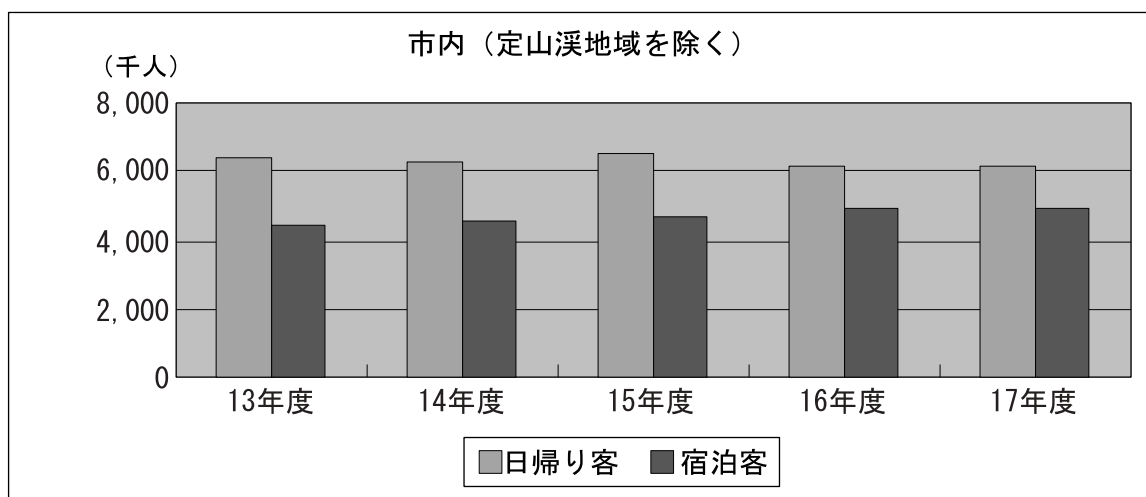
（全市ではほぼ半数、定山溪では7割近くが乗用車による入り込みとなっています。）

5 日帰り・宿泊客別入り込み状況

(単位：千人、%)

各年度中

年 度	観 光 客 数			構 成 比			前 年 比		
	合 計	日 帰 り 客	宿 泊 客	合 計	日 帰 り 客	宿 泊 客	合 計	日 帰 り 客	宿 泊 客
全									
13年度	13,280	7,200	6,080	100.0	54.2	45.8	101.8	100.8	102.9
14年度	13,251	6,998	6,253	100.0	52.8	47.2	99.8	97.2	102.8
15年度	13,683	7,475	6,208	100.0	54.6	45.4	103.3	106.8	99.3
16年度	13,302	6,751	6,551	100.0	50.8	49.2	90.3	90.3	105.5
17年度	13,323	6,839	6,484	100.0	51.3	48.7	100.2	101.3	99.0
う ち 定 山 溪 地 域									
13年度	2,434	784	1,650	100.0	32.2	67.8	96.7	91.8	99.2
14年度	2,392	671	1,721	100.0	28.1	71.9	98.3	85.6	104.3
15年度	2,439	911	1,528	100.0	37.4	62.6	102.0	135.8	88.8
16年度	2,186	565	1,621	100.0	25.8	74.2	89.6	62.0	106.1
17年度	2,196	677	1,519	100.0	30.8	69.2	100.4	119.8	93.7



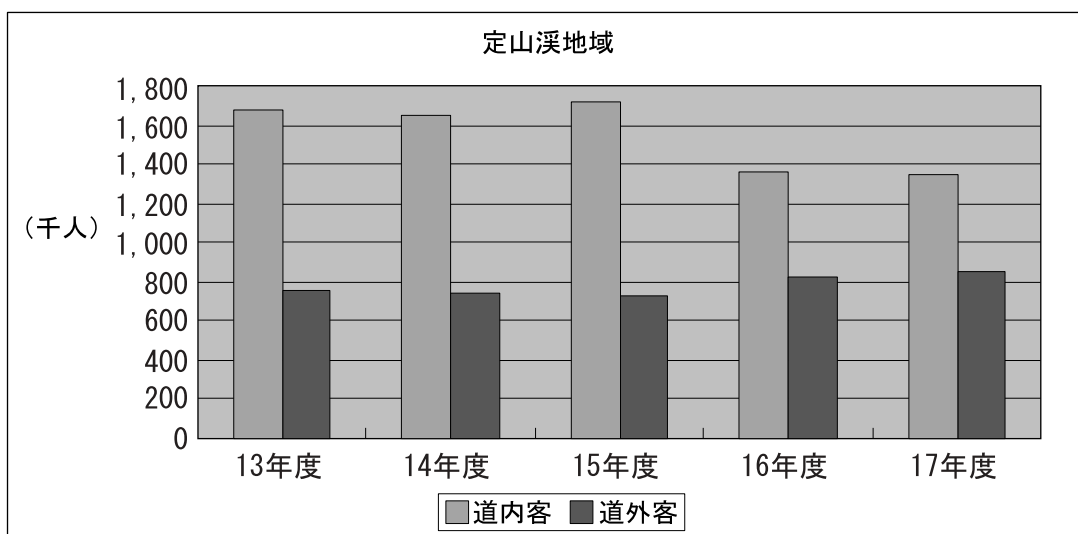
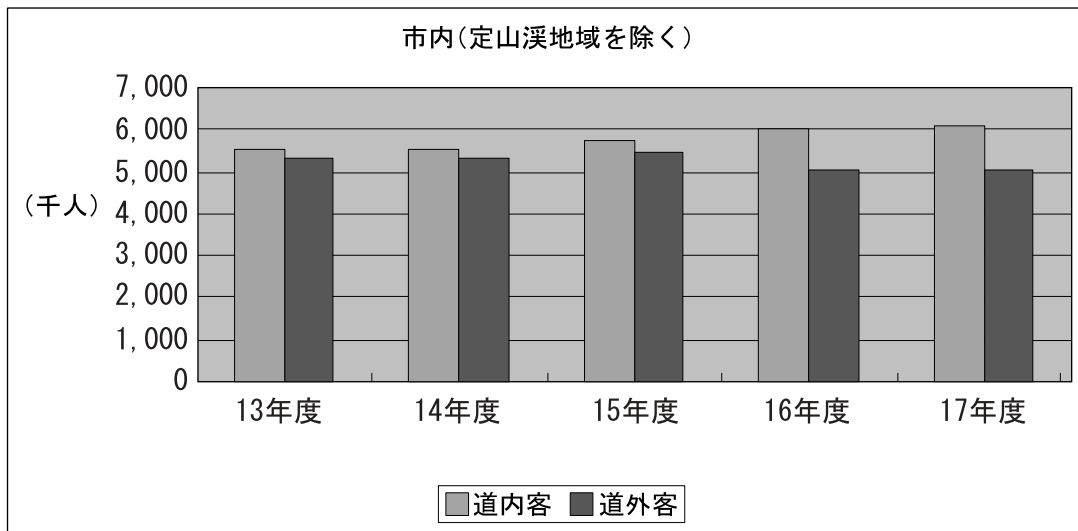
（定山溪では、宿泊客が減少し、日帰り客が増加しています。）

6 道内客・道外客別入り込み状況

(単位：千人、%)

各年度中

年度	観光客数			構 成 比			前 年 比		
	合 計	道内客	道外客	合 計	道内客	道外客	合 計	道内客	道外客
全 市									
13年度	13,280	7,243	6,037	100.0	54.5	45.5	101.8	98.0	106.7
14年度	13,251	7,180	6,071	100.0	54.2	45.8	99.8	99.1	100.6
15年度	13,683	7,465	6,218	100.0	54.6	45.4	103.3	104.0	102.4
16年度	13,302	7,406	5,896	100.0	55.7	44.3	97.2	99.2	94.8
17年度	13,323	7,403	5,920	100.0	55.6	44.4	100.2	100.0	100.4
う ち 定 山 溪 地 域									
13年度	2,434	1,683	751	100.0	69.1	30.9	96.7	94.2	102.7
14年度	2,392	1,649	743	100.0	68.9	31.1	98.3	98.0	98.9
15年度	2,439	1,711	728	100.0	70.2	29.8	102.0	103.8	98.0
16年度	2,186	1,364	822	100.0	62.4	37.6	89.6	79.7	112.9
17年度	2,196	1,347	849	100.0	61.3	38.7	100.5	98.8	103.3



(定山溪地域では、道外客が増加し、道内客が減少しています。)

第3章 宿泊施設

1 宿泊調査の概要

(1) 定義

すべての宿泊施設は「旅館業法」により法的規制を受けています。本書では「旅館業法」の対象施設のうち、下宿営業の施設、風俗関連営業の施設を除いたものを調査対象とし、以下のとおり分類しています。

ア 構造や設備による分類

(ア) ホテル 全客室の過半数を洋室が占めている施設（簡易宿所を除く）。

(イ) 旅館 全客室の過半数を和室が占めている施設（簡易宿所を除く）。

(ウ) 簡易宿所 カプセルホテル、ユースホステル、ペンション。

イ 運営形態等による分類

(ア) 政府登録施設 「国際観光ホテル整備法」に基づいて国土交通大臣の登録を受けた宿泊施設。

(イ) 一般施設 宿泊施設のうち、政府登録施設と公的施設を除いたもの。

(ウ) 公的施設 公共的性格を有する宿泊施設。国・地方公共団体の出資により管理運営される宿泊施設、および各種組合員（民間企業も含む）用の保養所。

なお、本書では、利用された客室数を利用可能客室数で除して求めた客室稼働率によって、宿泊施設の利用状況を調査しています。

$$\text{客室可動率} = \frac{\text{利用された客室数}}{\text{利用可能客室数}}$$

(2) 調査の内容

ア 方法 市内全宿泊施設に調査票を送付し、回答をまとめました。

イ 時期 上期17年4月～9月と下期17年10月～18年3月の年2回

ウ 項目 客室規模、利用者数、外国人の利用状況、修学旅行生の利用状況

(3) 動向

ア 宿泊施設の利用状況

市内ホテルの客室稼働率は、政府登録ホテルのみ増加しています。定山溪地域旅館の客室稼働率は、一般旅館のみ増加しています。

イ 外国人の宿泊状況

約30%増の49万83人になりました。アジアからの旅行者が全体の9割以上を占め、シンガポールが前年度の2倍以上に増えています。台湾、韓国も前年度の1.5倍近く増えています。

ウ 修学旅行生の宿泊状況

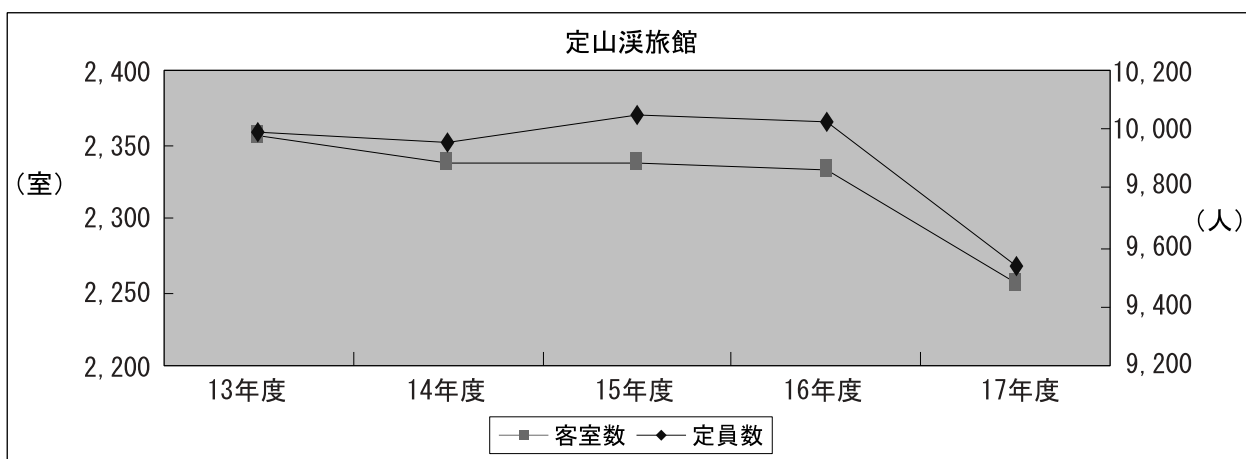
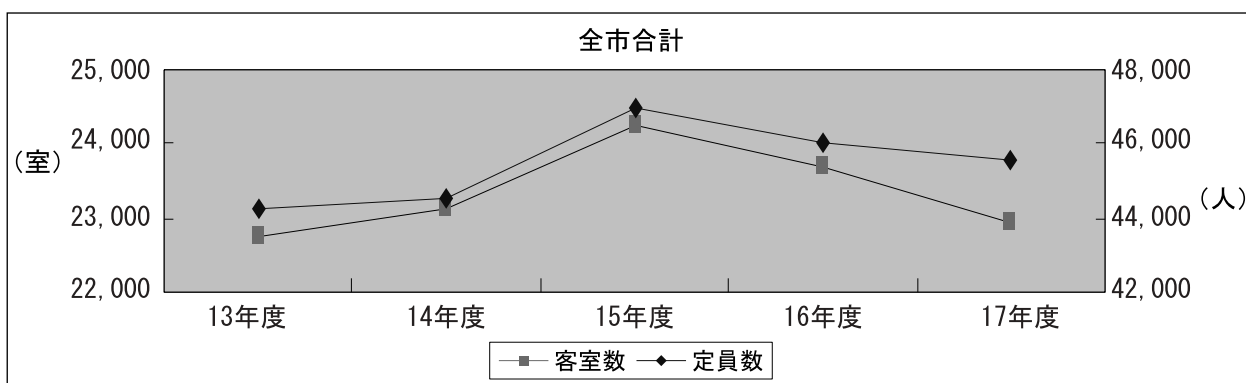
約7%減の17万5024人になりました。発地別で見ると、九州・沖縄の占める割合が、20.4%と最も多く、続いて、関東の17.1%、道内の16.9%、近畿の14.9%の順となっています。

2 宿泊施設の状況

軒数、客室数、定員数の年度別推移

各年度末現在

年 度	合 計			ホ テ ル			旅 館			簡 易 宿 泊 所		
	軒数	客室数	定員数	軒数	客室数	定員数	軒数	客室数	定員数	軒数	客室数	定員数
	軒	室	人	軒	室	人	軒	室	人	軒	室	人
	全						市					
13年度	207	22,771	44,288	127	19,151	31,253	68	2,948	11,733	12	672	1,302
14年度	208	23,117	44,544	129	19,467	31,415	65	2,959	11,810	14	691	1,319
15年度	203	24,236	46,950	128	20,641	33,866	61	2,920	11,794	14	675	1,290
16年度	204	23,689	46,070	129	20,098	33,001	61	2,915	11,772	14	676	1,297
17年度	197	22,960	45,586	124	19,447	33,060	60	2,849	11,242	13	664	1,284
	市 内 (定 山 溪 地 域 を 除 く)											
13年度	168	20,416	34,297	127	19,151	31,253	29	593	1,742	12	672	1,302
14年度	174	20,779	34,590	129	19,467	31,415	31	621	1,856	14	691	1,319
15年度	169	21,898	36,902	128	20,641	33,866	27	582	1,746	14	675	1,290
16年度	170	21,356	36,042	129	20,098	33,001	27	582	1,744	14	676	1,297
17年度	165	20,704	36,044	124	19,447	33,060	28	593	1,700	13	664	1,284
	う ち 定 山 溪 地 域											
13年度	39	2,355	9,991	-	-	-	39	2,355	9,991	-	-	-
14年度	34	2,338	9,954	-	-	-	34	2,338	9,954	-	-	-
15年度	34	2,338	10,048	-	-	-	34	2,338	10,048	-	-	-
16年度	34	2,333	10,028	-	-	-	34	2,333	10,028	-	-	-
17年度	32	2,256	9,542	-	-	-	32	2,256	9,542	-	-	-

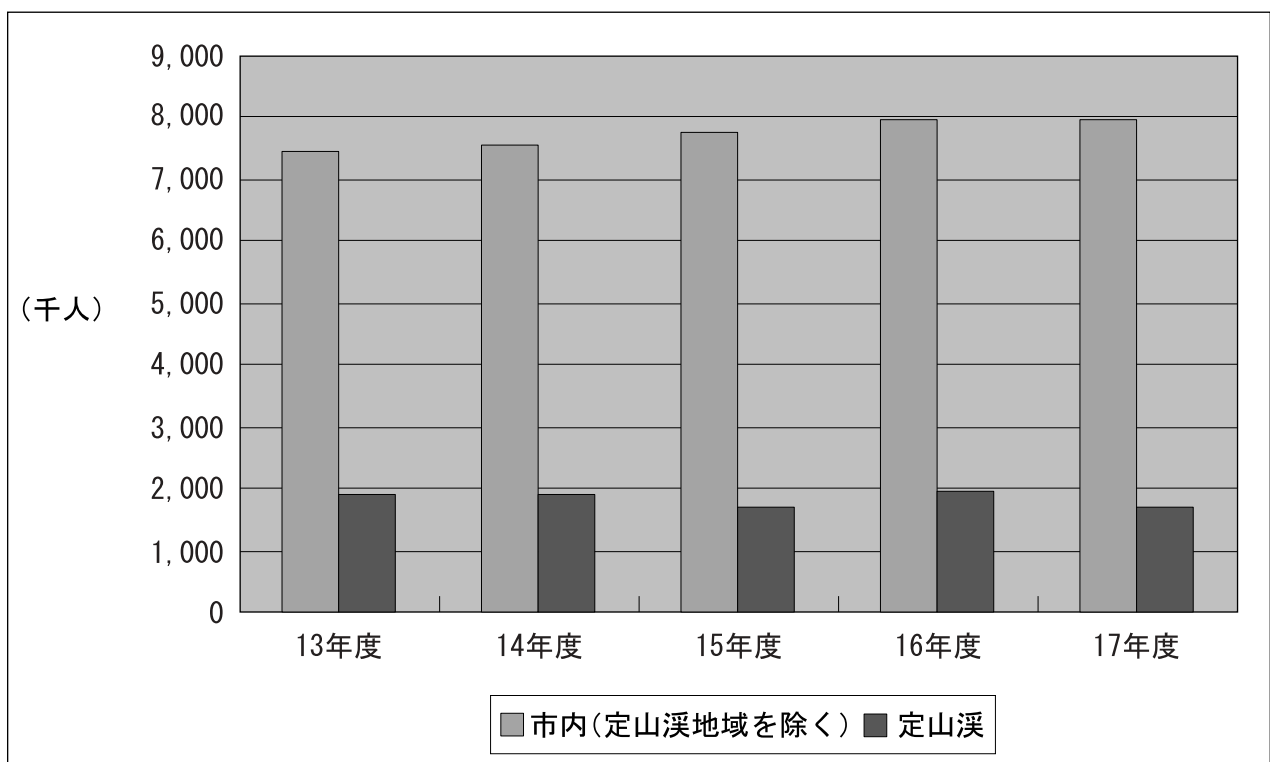


(全市、定山溪地域ともに、客室数、定員数は減少傾向にあります。)

3 宿泊施設利用状況

宿泊施設利用者数の推移

年 度	全 市		市内 (定山溪地域を除く)	定山溪地域
		前年度比		
	千人	%	千人	千人
13年度	9,331	105.0	7,438	1,893
14年度	9,478	101.6	7,550	1,928
15年度	9,477	100.0	7,767	1,710
16年度	9,946	104.9	7,977	1,969
17年度	9,682	97.3	7,995	1,687



(平成13年度以降、市内宿泊者数は増加傾向にあります。)

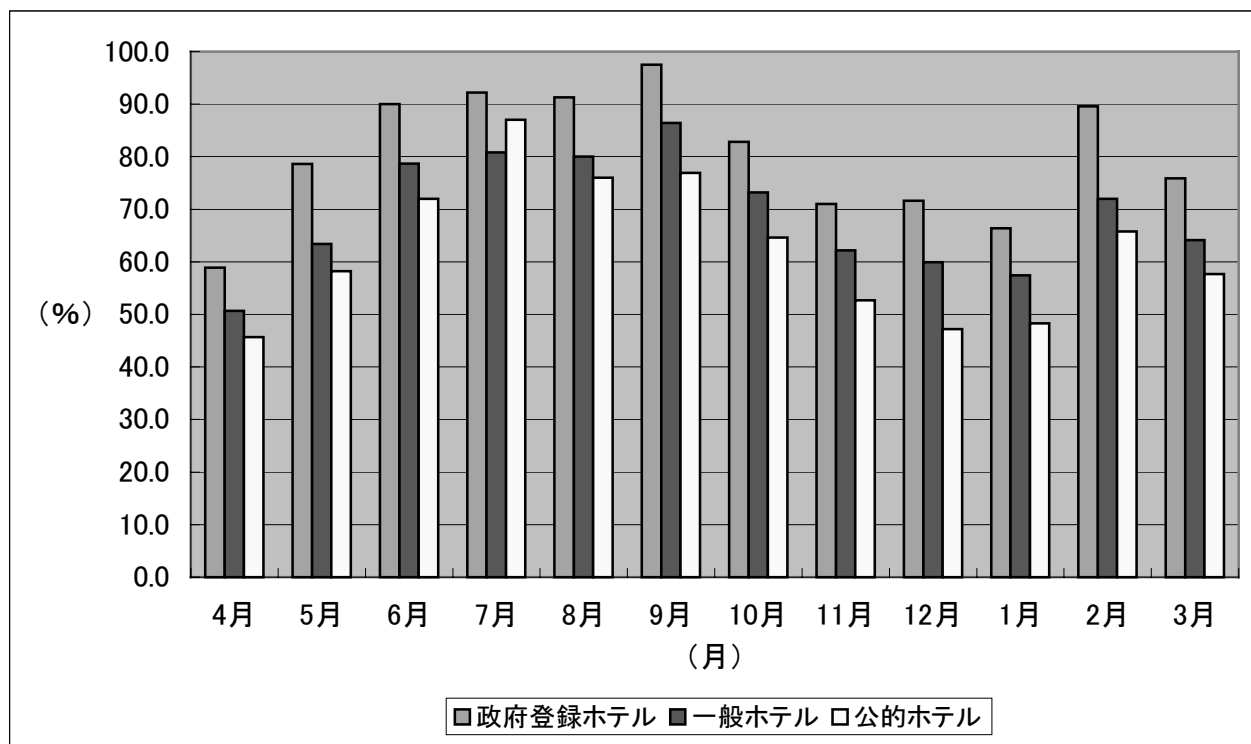
市内ホテルの客室稼働率

(単位：％)

各年度中

年度	年度計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
政 府 登 録 ホ テ ル													
13年度	77.5	57.2	75.4	85.6	84.3	84.9	92.3	77.9	69.6	72.9	67.7	86.9	75.0
14年度	73.1	56.8	71.9	79.1	84.0	84.0	88.2	72.3	61.8	64.2	63.1	80.8	71.3
15年度	80.0	57.7	82.7	90.3	90.1	91.7	89.9	84.6	70.9	70.7	69.4	86.5	75.7
16年度	78.3	56.4	77.8	92.8	95.0	93.6	90.6	79.2	63.9	66.8	66.3	84.7	73.2
17年度	80.4	58.9	78.6	90.0	92.2	91.3	97.5	82.8	71.0	71.6	66.4	89.6	75.9
一 般 ホ テ ル													
13年度	64.4	42.9	55.9	71.5	73.3	76.2	81.0	63.4	57.2	59.6	55.7	77.1	58.8
14年度	63.2	46.3	54.3	68.3	72.8	78.0	77.8	67.3	55.1	55.4	53.1	73.0	58.1
15年度	64.3	45.2	61.3	78.1	79.0	79.1	78.7	67.9	56.3	52.0	50.0	68.2	56.1
16年度	69.6	51.6	63.1	78.4	81.7	84.7	87.6	71.1	62.2	58.8	58.1	75.4	63.1
17年度	69.0	50.7	63.4	78.7	80.8	80.0	86.4	73.2	62.2	59.9	57.4	72.0	64.1
公 的 ホ テ ル													
13年度	66.5	43.6	60.4	76.9	83.9	84.9	83.5	69.5	61.0	51.5	55.2	74.1	58.0
14年度	65.7	50.2	63.2	77.5	85.0	86.9	84.0	64.3	56.2	44.8	50.2	71.8	55.4
15年度	59.2	41.8	55.8	68.9	69.3	82.1	68.4	61.1	52.6	40.0	47.2	66.5	57.5
16年度	68.8	51.0	62.8	72.3	89.9	80.3	81.7	86.2	59.3	51.0	57.3	72.2	61.7
17年度	62.6	45.7	58.2	72.0	87.0	76.0	76.9	64.6	52.7	47.2	48.3	65.8	57.7

平成 17 年度の市内ホテルの客室稼働率（月別）



（政府登録ホテル、一般ホテル、公的ホテルとも、4月の客室稼働率が最も低くなっています。6月～10月及び「さっぽろ雪まつり」が開催される2月には、高くなっています。）

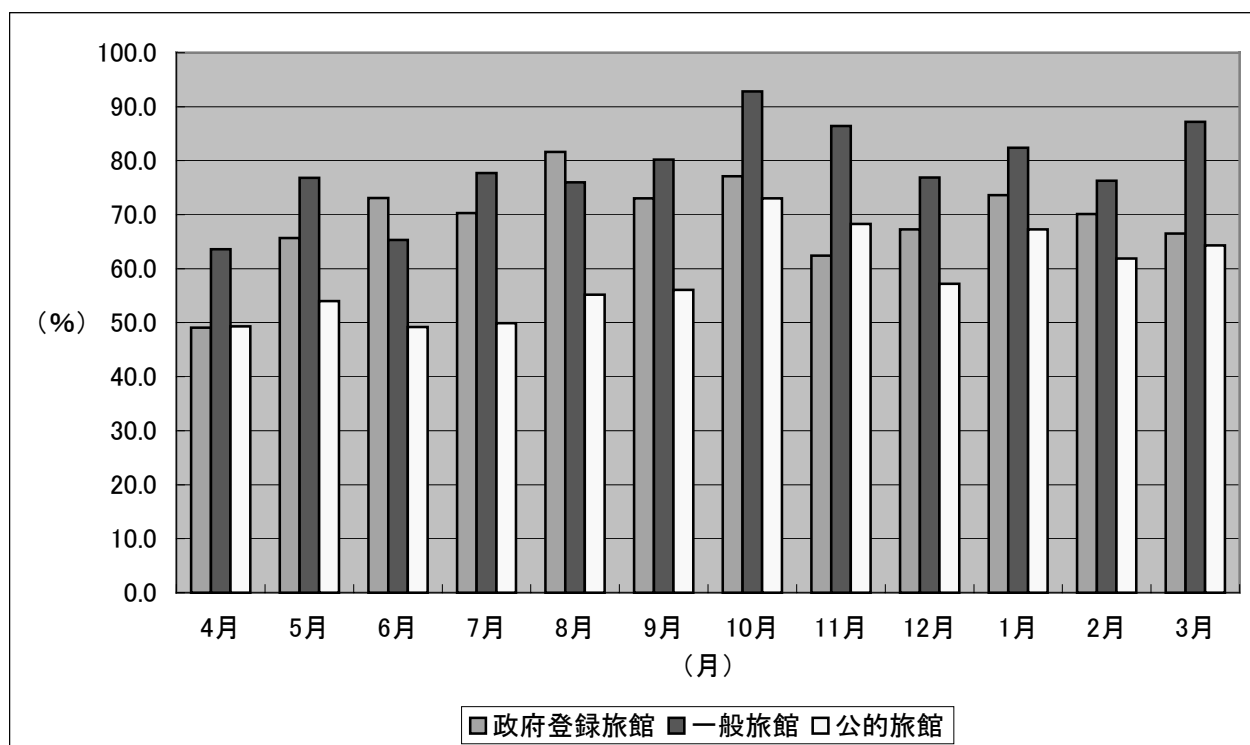
定山溪地域旅館の客室稼働率

(単位：％)

各年度中

年度	年度計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
政 府 登 録 旅 館													
13年度	74.5	50.6	62.1	64.3	68.9	79.5	81.4	87.4	78.2	77.9	82.1	86.3	76.5
14年度	78.6	63.1	72.7	79.8	80.7	88.9	87.2	89.5	76.2	72.7	78.8	78.8	75.7
15年度	71.7	49.1	65.6	70.8	80.2	93.0	87.8	78.4	65.9	60.1	67.4	73.4	69.4
16年度	79.7	57.2	69.0	74.1	78.5	88.5	82.7	98.3	77.3	77.5	84.8	86.5	82.4
17年度	69.1	49.1	65.7	73.1	70.3	81.6	73.0	77.1	62.4	67.3	73.6	70.1	66.5
一 般 旅 館													
13年度	54.6	48.3	65.6	53.4	52.7	62.2	70.0	60.4	45.0	35.9	51.1	53.2	34.9
14年度	46.7	30.5	48.0	69.4	49.3	49.0	55.9	49.5	46.2	50.1	33.8	33.2	45.6
15年度	34.0	7.5	17.2	15.7	24.3	21.1	31.2	60.1	48.1	36.0	59.0	49.6	39.3
16年度	71.1	56.0	72.1	75.6	78.0	84.0	82.3	76.3	73.1	59.7	72.2	60.0	64.7
17年度	78.4	63.6	76.8	65.3	77.7	76.0	80.2	92.8	86.4	76.9	82.4	76.3	87.2
公 的 旅 館													
13年度	53.3	44.8	46.4	46.6	40.5	49.6	51.5	67.5	62.3	50.2	59.7	58.7	56.8
14年度	60.7	48.0	50.9	53.3	48.9	54.1	52.7	75.7	73.1	61.4	68.4	71.4	71.3
15年度	68.4	44.3	49.8	50.7	48.3	50.3	51.8	92.5	91.2	79.1	87.7	93.5	82.4
16年度	61.2	50.2	57.9	53.9	51.7	58.0	58.8	72.6	71.5	60.4	66.7	66.7	67.1
17年度	58.8	49.3	54.0	49.2	49.9	55.2	56.1	73.0	68.3	57.2	67.3	61.9	64.3

平成 17 年度の定山溪地域旅館の客室稼働率（月別）

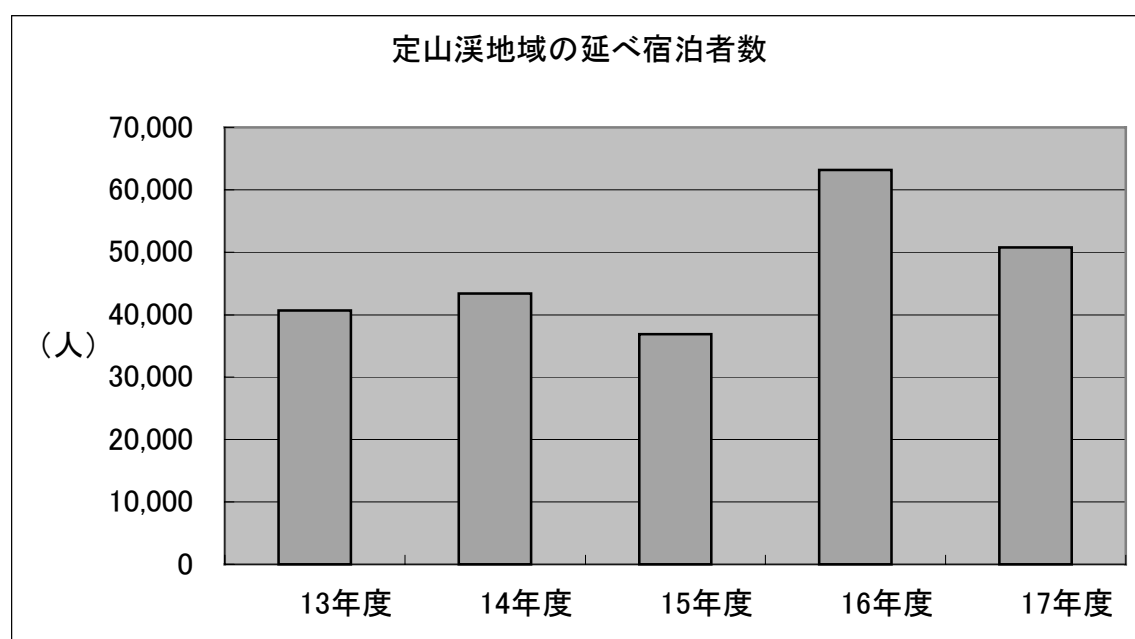
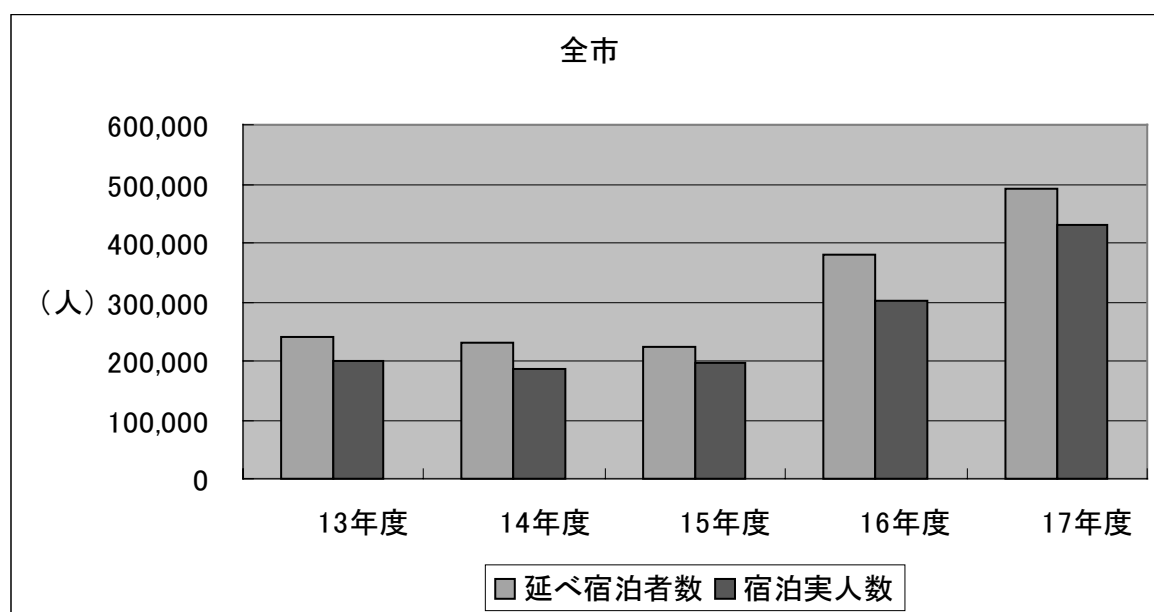


（政府登録旅館は観光のトップシーズンである 8 月の稼働率が、一般旅館及び公的旅館については、観楓会シーズンの 10 月が最も客室稼働率が高くなっています。

4 外国人の宿泊状況

外国人の宿泊年度別推移

区 分	延 べ 宿 泊 者 数				全 市 宿 泊 実 人 数	全 市 平 均 宿 泊 日 数
	全 市		市内(定山溪 地域を除く)	定山溪地域		
		前年度比				
	人	%	人	人	人	日
13年度	241,948	108.5	201,282	40,666	199,453	1.2
14年度	232,072	95.9	188,693	43,379	187,911	1.2
15年度	222,425	95.8	185,523	36,902	195,086	1.1
16年度	381,288	171.4	318,114	63,174	302,604	1.3
17年度	490,083	128.5	439,322	50,761	428,868	1.1

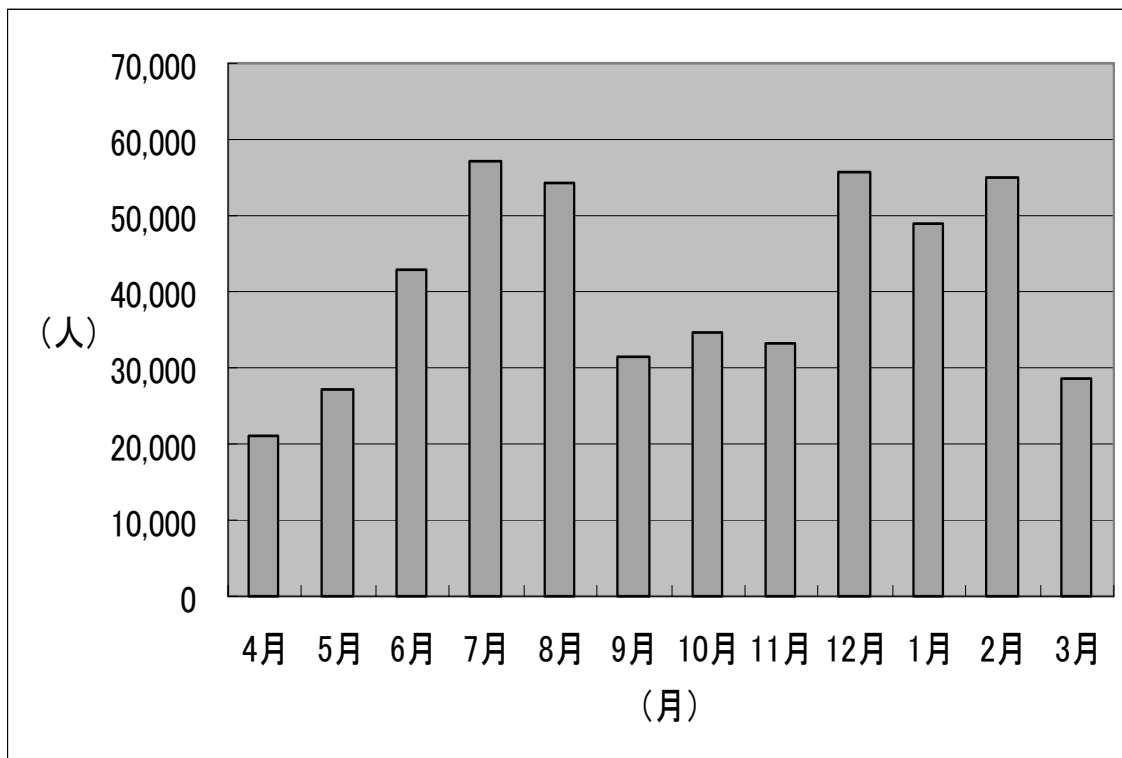


(全市では、15年度以降、延べ宿泊者数及び実人数については、増加傾向にあります。)

外国人の宿泊月別内訳

月次	全市			市内(定山溪 地域を除く)	定山溪 地域
		前年度比	構成比		
	人	%	%	人	人
合 計	490,083	128.5	100.0	439,322	50,761
平成17年4月	20,937	140.1	4.3	19,334	1,603
5月	26,979	150.5	5.5	24,486	2,493
6月	43,005	180.6	8.8	36,354	6,651
7月	57,198	133.5	11.7	49,731	7,467
8月	54,154	145.6	11.0	46,640	7,514
9月	31,545	147.0	6.4	27,683	3,862
10月	34,697	94.3	7.1	31,010	3,687
11月	33,190	126.3	6.8	30,641	2,549
12月	55,697	124.3	11.4	50,951	4,746
平成18年1月	48,951	134.8	10.0	45,280	3,671
2月	55,075	102.3	11.2	50,503	4,572
3月	28,655	114.3	5.8	26,709	1,946

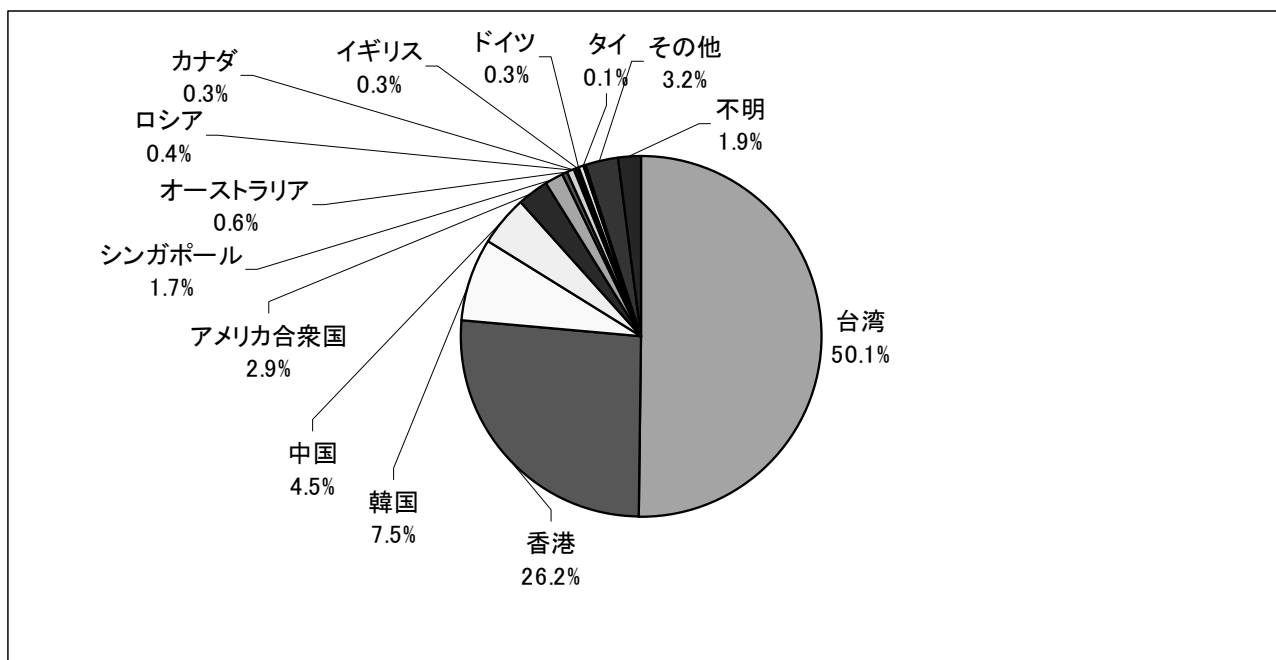
外国人の宿泊月別内訳（全市）



（12月～2月など冬季とトップシーズンである7～8月が多くなっています。）

外国人の宿泊発地別内訳

国・地域名	延べ宿泊者数	宿泊実人数	平均宿泊日数	構 成 比	前年度比
	人	人	日	%	%
合 計	490,083	428,868	1.1	100.0	128.5
ア ジ ア	449,033	401,210	1.1	91.6	135.2
北 米	15,800	9,816	1.6	3.2	89.9
ヨーロッパ	11,341	6,622	1.7	2.3	85.5
オセアニア	3,672	2,351	1.6	0.8	118.0
中南米	575	307	1.9	0.1	83.8
アフリカ	367	267	1.4	0.1	135.9
不明	9,295	8,295	1.1	1.9	65.0
(国・地域別)					
台湾	245,736	227,478	1.1	50.1	147.5
香港	128,322	113,365	1.1	26.2	110.6
韓国	36,786	29,493	1.2	7.5	147.6
中国	22,044	17,101	1.3	4.5	139.6
アメリカ合衆国	14,183	8,840	1.6	2.9	88.0
シンガポール	8,097	7,582	1.1	1.7	260.4
オーストラリア	2,803	1,851	1.5	0.6	126.3
ロシア	1,952	1,140	1.7	0.4	120.9
カナダ	1,617	976	1.7	0.3	110.6
ドイツ	1,396	878	1.6	0.3	85.4
イギリス	1,361	631	2.2	0.3	89.5
タイ	699	645	1.1	0.1	—
その他	15,792	10,593	1.5	3.2	99.0
不明	9,295	8,295	1.1	1.9	65.0



(アジアが全体の 9 割以上、中でも台湾が全体のほぼ過半数を占めています。シンガポールが前年度の 2.5 倍以上と大きく増加しています。台湾、韓国についても、大きく増加しています。平均宿泊日数では、アジアが最も短くなっています。)

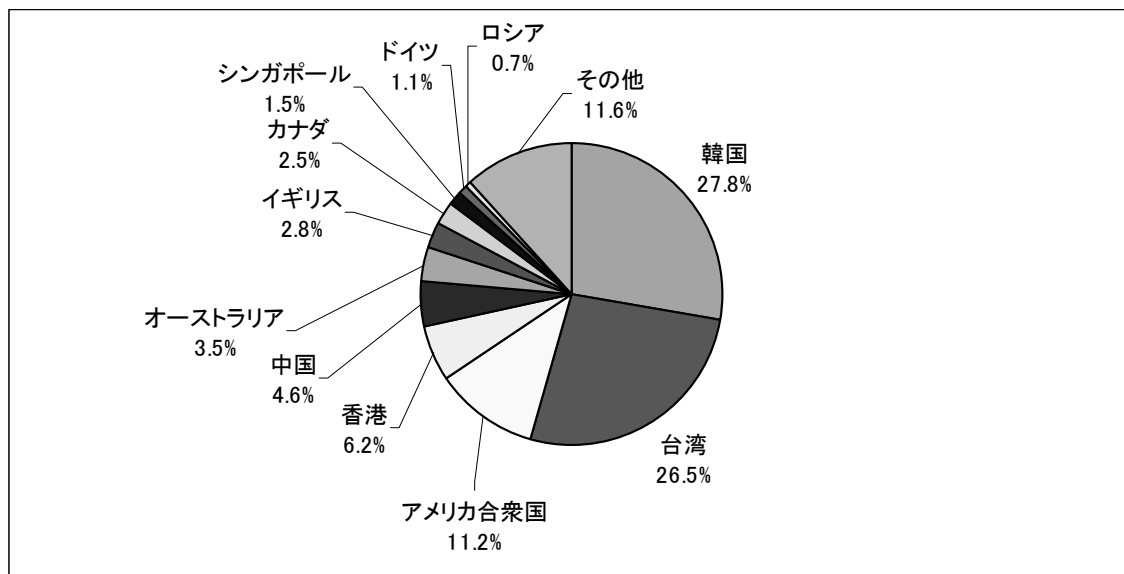
訪日外国人数

平成17年中

国・地域名	訪日外客数				
		うち、観光客	構成比	平成16年	前年度比
	人	人	%	人	%
合 計	6,727,926	4,368,573	100.0	3,839,661	113.8
ア ジ ア	4,627,478	3,150,093	72.1	2,726,855	115.5
ヨ ー ロ ッ パ	798,791	402,913	9.2	365,384	110.3
ア フ リ カ	23,655	6,691	0.2	5,419	123.5
北 ア メ リ カ	997,809	612,307	14.0	561,549	109.0
南 ア メ リ カ	34,331	18,949	0.4	14,162	133.8
オ セ ア ニ ア	244,894	177,215	4.1	165,953	106.8
無国籍・その他	968	405		339	119.5
韓 国	1,747,171	1,215,766	27.8	1,037,483	117.2
台 湾	1,274,612	1,160,402	26.5	962,168	120.6
アメリカ合衆国	822,033	487,887	11.2	445,840	109.4
香 港	298,810	269,123	6.2	271,492	99.1
中 国	652,820	201,940	4.6	189,692	106.5
オーストラリア	206,179	154,571	3.5	143,988	107.3
イ ギ リ ス	221,535	123,618	2.8	122,947	100.5
カ ナ ダ	150,012	107,591	2.5	102,058	105.4
シンガポール	94,161	63,772	1.5	62,930	101.3
ド イ ツ	118,429	48,541	1.1	44,470	109.2
ロ シ ア	63,609	29,835	0.7	27,206	109.7
そ の 他	1,078,555	505,527	11.6	429,387	117.7

注) 一次上陸を含む。

(資料) 「国際観光振興機構 (JNTO)」



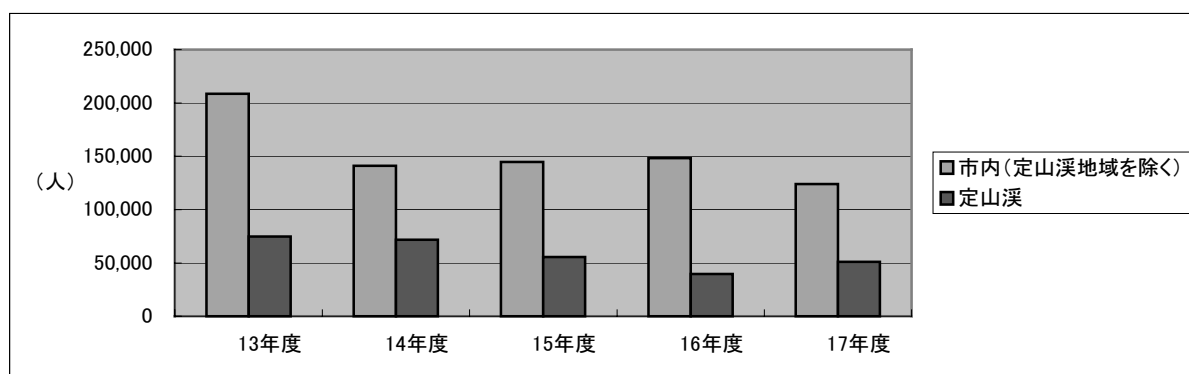
(日本全体では、韓国、台湾がそれぞれ全体の4分の1以上を占めています。)

5 修学旅行生の宿泊状況

修学旅行生の宿泊月別内訳

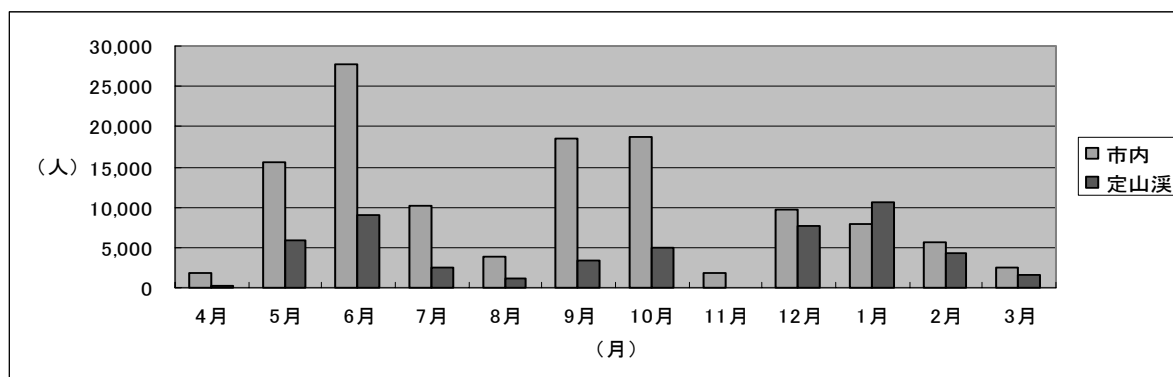
区 分	全 市		市内(定山溪地域を除く)		定山溪地域	
	学 校 数	宿泊延べ人数	学 校 数	宿泊延べ人数	学 校 数	宿泊延べ人数
	校	人	校	人	校	人
13年度	1,585	283,493	1,217	208,701	368	74,792
14年度	1,274	212,848	876	140,949	398	71,899
15年度	1,265	200,361	911	144,629	354	55,732
16年度	1,157	188,061	888	148,227	269	39,834
17年度	1,717	175,024	1,414	123,863	303	51,161
平成17年4月	16	1,860	14	1,722	2	138
5月	524	21,590	458	15,652	66	5,938
6月	315	36,861	230	27,799	85	9,062
7月	296	12,660	268	10,079	28	2,581
8月	69	4,955	50	3,763	19	1,192
9月	179	21,921	146	18,567	33	3,354
10月	114	23,693	95	18,778	19	4,915
11月	7	1,806	7	1,806	0	0
12月	67	17,432	53	9,778	14	7,654
平成18年1月	57	18,361	38	7,869	19	10,492
2月	51	9,930	37	5,569	14	4,361
3月	22	3,955	18	2,481	4	1,474

修学旅行生宿泊延べ人数年度別推移



(市内の宿泊延べ人数は減少しています。)

修学旅行生宿泊延べ人数月別推移

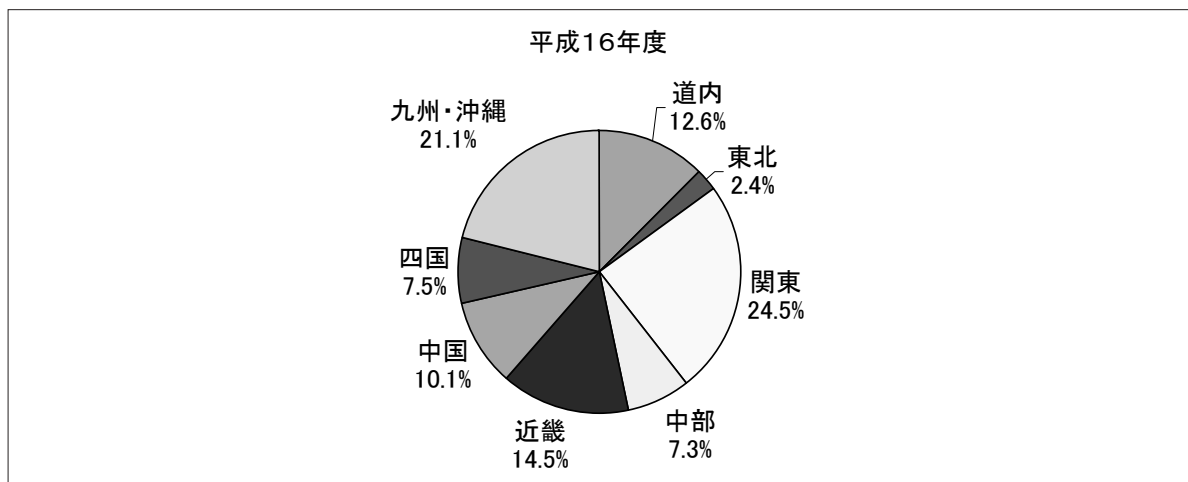
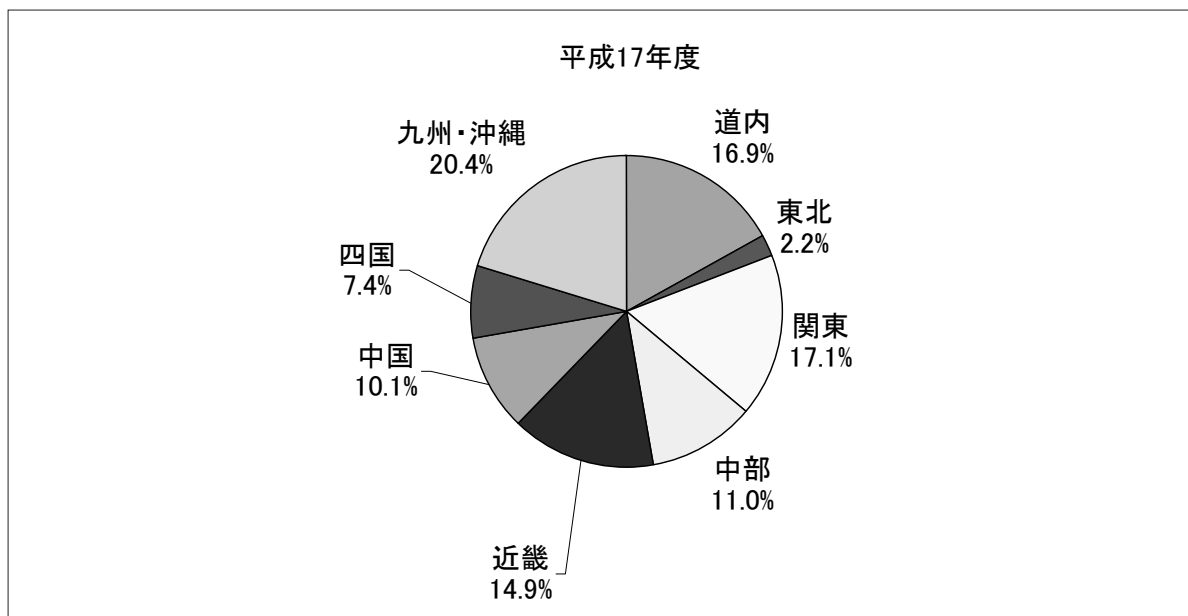


(月別推移では、6月が多くなっています。)

修学旅行生の宿泊発地別内訳

区 分	全 市			市内(定山溪地域を除く)		定 山 溪 地 域	
	学 校 数	宿 泊 延 べ 人 数	構 成 比	学 校 数	宿 泊 延 べ 人 数	学 校 数	宿 泊 延 べ 人 数
	校	人	%	校	人	校	人
合 計	1,717	175,024	100.0	1,414	123,863	303	51,161
道 内	454	29,535	16.9	281	18,234	173	11,301
東 北	232	3,913	2.2	228	3,124	4	789
関 東	502	29,957	17.1	470	22,975	32	6,982
中 部	106	19,226	11.0	92	16,048	14	3,178
近 畿	130	26,042	14.9	96	17,032	34	9,010
中 国	105	17,666	10.1	97	15,609	8	2,057
四 国	66	13,044	7.4	65	12,800	1	244
九 州・沖 縄	122	35,641	20.4	85	18,041	37	17,600
不 明	0	0	0.0	0	0	0	0

修学旅行生の宿泊発地別内訳（全市）



（16年度と17年度では、道内と近畿の順序が逆転しています。）

第 4 章 イベントとコンベンション

1 札幌でのイベント開催状況

(1) さっぽろ雪まつり

昭和 25 年、市内の中高校生たちが大通公園西 7 丁目に作った小さな雪像 6 基からスタートしました。寒く厳しい冬に、わずかの楽しみを求めて集まった市民は 5 万人を数え、小雪像を囲んでのスキエダンスや映画会を楽しみました。

回を重ねるごとにその規模は拡大し、第 6 回から雪像の制作に自衛隊が携わることで、大雪像時代が到来しました。今では国内はもとより世界的に知られる冬の一大イベントになっています。

さらに、第 57 回さっぽろ雪まつりでは、東区の農業交流体験施設「サッポロさとらんど」を会場とした『さとらんど会場』を開設いたしました。遊び、体験、交流などをコンセプトにした全く新しい会場として好評を博しました。



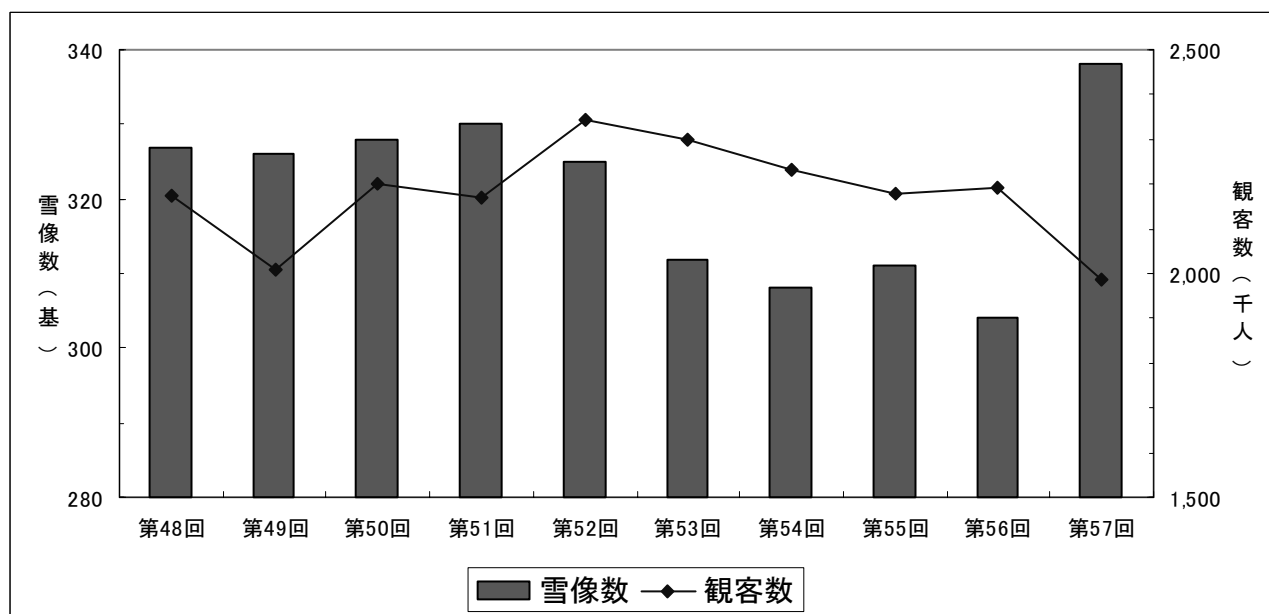
(URL) <http://www.snowfes.com/>

第 57 回さっぽろ雪まつりの開催概要

期 間	平成 18 年 2 月 6 日（月）～12 日（日）〔7 日間〕	
会 場	大 通 会 場	大通西 1～12 丁目
	さとらんど会場	サッポロさとらんど
	すすきの会場	駅前通（南 4～7 条）
行 事 等	・開会式（大通西 7 丁目 2 月 6 日） ・さとらんど会場オープニングセレモニー（さとらんど 2 月 6 日） ・国際雪像コンクール 15 チーム（大通西 11 丁目） ・市民雪像(大通 小雪像 136 基、中雪像 3 基、バーチャル雪まつり雪像 1 基) ・スノーオブジェコンテスト（さとらんど 2 月 6 日） ・ステージイベント（各会場で会期中、多種多彩なイベントを実施）	
雪 氷 像 数	338 基（大雪像 5 基、中雪像 7 基、大氷像 2 基、その他小雪氷像）	
雪 輸 送 量	5t トラックで約 5,000 台 ※ 1 月 7 日開始	

観客数、雪氷像数の推移（過去 10 年）

	第48回 (平成9年)	第49回 (平成10年)	第50回 (平成11年)	第51回 (平成12年)	第52回 (平成13年)	第53回 (平成14年)	第54回 (平成15年)	第55回 (平成16年)	第56回 (平成17年)	第57回 (平成18年)
雪像数(基)	327	326	328	330	325	312	308	311	304	338
観客数 (千人)	2,174	2,007	2,201	2,168	2,344	2,297	2,233	2,179	2,191	1,985



(2) YOSAKOI ソーラン祭り

高知の「よさこい祭り」で南国土佐の若者たちが情熱的に踊り舞うさまを目にした札幌の大学生が、翌年の平成4年、その感動を再現する新イベントを札幌に創り出しました。

よさこい踊りとソーラン節という、日本の南と北の風物詩を組み合わせた「YOSAKOI ソーラン祭り」の誕生です。

鳴子を手にし、あでやかな衣装に身を包んだ踊り子チームのそれぞれが、ソーラン節のオリジナルやアレンジ曲に合わせて独自のよさこい踊りを披露し、市内に展開する各会場で腕を競い合います。



YOSAKOI ソーラン祭り組織委員会

平成10年開催の第7回から、祭りの急速な規模拡大に対応するため、学生中心の実行委員会に代わって、経済界や本市などが加わり組織委員会が結成され、運営・管理体制の強化が図られました。

本市の新しいタイプの祭りとして、広く市民の共感を得ています。

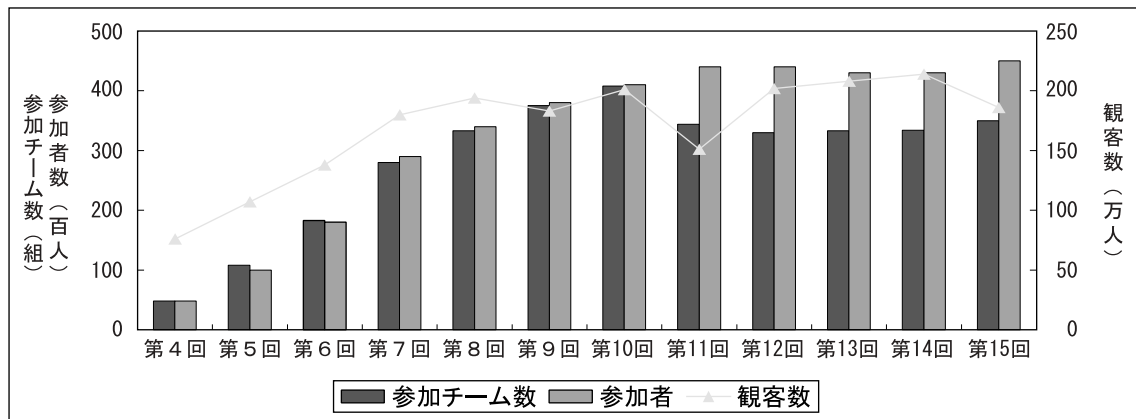
(URL) <http://www.yosanet.com/>

第 14・15 回 Y O S A K O I ソーラン祭りの開催概要

	第 14 回（平成 17 年度）	第 15 回（平成 18 年度）
期 間	平成 17 年 6 月 8 日(水)～12 日(日)	平成 18 年 6 月 7 日(水)～11 日(日)
会 場	大通公園を始めとする市内 25 会場	大通公園を始めとする市内 31 会場
参 加 者	延べ 43,000 人 334 チーム	延べ 45,000 人 350 チーム
うち市内	93 チーム	86 チーム
道 内	137 チーム	122 チーム
そ の 他	90 チーム	142 チーム
観 客 数	214 万人	186 万人
経済効果	230 億 7900 万円	238 億 3400 万円

観客数、参加チーム数、参加者数の推移

	第4回 (7年度)	第5回 (8年度)	第6回 (9年度)	第7回 (10年度)	第8回 (11年度)	第9回 (12年度)	第10回 (13年度)	第11回 (14年度)	第12回 (15年度)	第13回 (16年度)	第14回 (17年度)	第15回 (18年度)
参加チーム数	48	108	183	280	333	375	408	344	330	333	334	350
参加者(百人)	48	100	180	290	340	380	410	440	440	430	430	450
観客数(万人)	76	107	138	180	194	183	201	151	202	208	214	186



(3) さっぽろ夏まつり

昭和 29 年、夏の観光名物の新規開拓を目指して、それまで市内の各団体・地域がそれぞれ独自に実施してきた夏の行事が一つにまとめられました。「さっぽろ夏まつり」の誕生です。

現在、この祭りは毎年 7・8 月に 1 ヶ月間連続して開催され、大通会場をはじめ狸・すすきの・かっぱの 3 祭りとは各団体、各地域の催しものから構成されています。そしてこのイベントの中心となっているのが納涼ガーデンと盆踊りです。祭りの前半には、メイン会場の「大通納涼ガーデン」に色とりどりのパラソルの花が咲き、ジョッキ数十万杯分の生ビールが市民や観光客ののどを潤します。



後半に催される「北海盆踊り」では、提灯の列に彩られた夜の大通にやぐら太鼓が鳴り響き、大勢の市民と観光客で踊りの輪が広がっていきます。

また、17 年度から、後半の新規催事である「フードスクエア」を実施します。

(URL) <http://www.sweb.co.jp/kanko/natsu/>

第 52 回さっぽろ夏まつりの開催概要

期 間

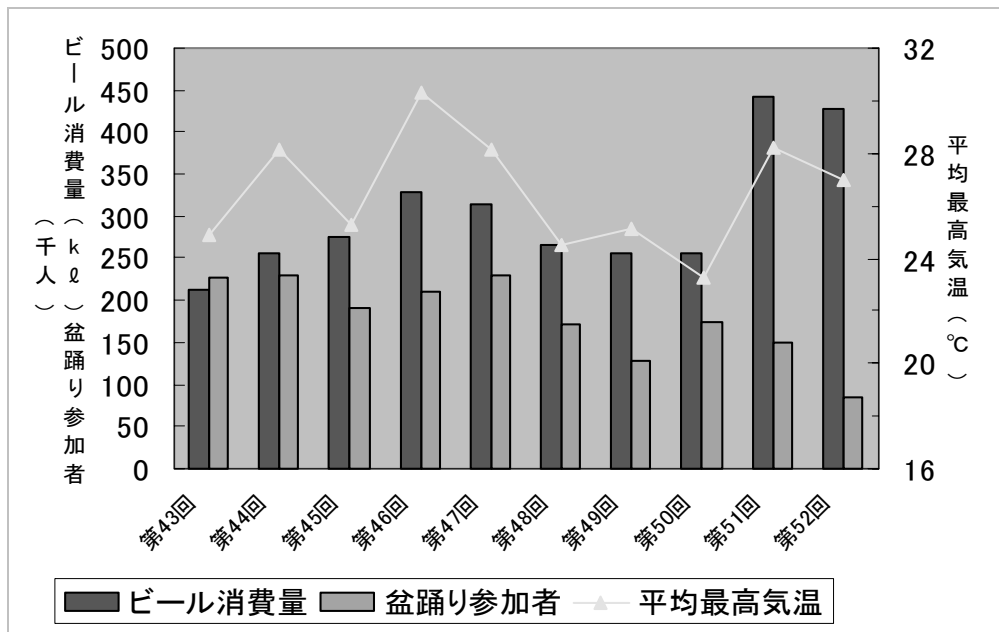
平成 17 年 7 月 21 日（木）～8 月 20 日（土）〔31 日間〕

行事等

	行 事 ・ 会 場	日 程
大 通	福祉協賛大通納涼ガーデン (西 2、5～8、10 丁目)	7 月 21 日～8 月 10 日
	北海盆踊り (西 7 丁目)	8 月 14 日～20 日
	※「仮装コンクール」(西 7～8 丁目路上)	8 月 20 日
	さっぽろバザール (西 5 丁目)	8 月 14 日～20 日
	フードスクエア (西 6 丁目)	8 月 14 日～20 日
狸 小 路	第 52 回狸まつり	7 月 21 日～8 月 20 日
す す き の	第 41 回すすきの祭り	8 月 4 日～6 日
定 山 溪	第 41 回定山溪かっぱまつり	8 月 5 日～10 日

ビール消費量および盆踊り参加者数の推移（過去 10 年）

	第43回 (平成8年)	第44回 (平成9年)	第45回 (平成10年)	第46回 (平成11年)	第47回 (平成12年)	第48回 (平成13年)	第49回 (平成14年)	第50回 (平成15年)	第51回 (平成16年)	第52回 (平成17年)
ビール消費 量(kℓ)	212	255	276	328	314	266	256	256	442	428
盆踊り参加 者(千人)	227	230	190	210	230	172	127	173	149	84
平均最高気 温(℃)	24.9	28.1	25.3	30.3	28.1	24.5	25.1	23.3	28.2	27.0



(4) さっぽろライラックまつり

明治期に米国からもたらされて以来、ライラック（別名リラ）は多くの市民に愛され、街角や庭先を飾ってきました。昭和 34 年に「ロマンのまちらしい札幌のまつりを」という文化団体や芸術・文化人らの呼びかけで始まりました。翌、昭和 35 年には、札幌市の人口 50 万人突破を記念して行われた市民投票で、市の花・木・鳥を決めた際に「札幌の木」として選ばれています。毎年 5 月下旬の開花時期にあわせて開催される「さっぽろライラックまつり」は、半年あまりの長い冬からの開放と野外散策の季節の到来を市民に告げるイベントであり、昭和 34 年度に第 1 回が開かれてから、平成 18 年度で 48 回を迎えました。



(URL) <http://www.sweb.co.jp/kanko/lilac/>

第 47・48 回さっぽろライラックまつりの開催概要

	第 47 回（平成 17 年度）	第 48 回（平成 18 年度）
期 間	平成 17 年 5 月 20 日(金)～22 日(日)	平成 18 年 5 月 19 日(金)～21 日(日)
会 場	大通公園西 4～7 丁目	
行 事 等	苗木プレゼント、鯉の放流（47 回まで）、ライラック写生コーナー、野だて、大道芸、市民音楽の広場、似顔絵コーナー、スタンプラリー、折り紙教室、和紙ちぎり絵展示・教室、万華鏡の体験・展示コーナー、喫茶コーナー、ワインガーデン（第 47 回からの新規事業） 他	
観 客 数	336,400 人	346,700 人

(5) さっぽろ菊まつり

昭和 30 年代の園芸ブームに乗って菊作りの愛好者が増え、市民の関心が高まる中、それまでばらばらであった小規模な同好会の活動が一本化され、全市的なイベント「さっぽろ菊花展」が誕生しました。昭和 38 年の第 1 回開催から 4 年を経た第 5 回からは、名称が「さっぽろ菊まつり」に変わり、展示会から市民も催しの参加者となって共に楽しむまつりとなりました。



札幌市の秋の恒例行事として内外に定着したこのまつりは、現在、札幌地下街のオーロラタウンとポールタウン、地下鉄大通駅コンコースを会場として開催されています。「大輪 3 本仕立」、「懸崖仕立」など丹精込めた作品が 4 日間にわたって地下街の通り中央にずらりと並び、その数は毎年、約 8 百点に達します。

また、14 年度より、菊づくり愛好者の裾野を広げ、より多くの方が菊まつりに出展できるように、菊づくり講習会を実施しています。

(URL) <http://www.sweb.co.jp/kanko/kiku/>

2005 さっぽろ菊まつりの開催概要

期 間	平成 17 年 10 月 31 日 (月) ～11 月 3 日 (木・祝) [4 日間]
会 場	さっぽろ地下街オーロラタウン・ポールタウン、地下鉄大通駅コンコース
行 事 等	菊花プレゼント、菊花展、初心者相談コーナー、菊づくり講習会、菊オブジェ
観 客 数	140 万人
出 展 数	936 点

(6) さっぽろホワイトイルミネーション

昭和 56 年に、秋の観光シーズンと「さっぽろ雪まつり」をつなぐイベントとして始められ、当初は大通公園の西 2 丁目のみを会場に 1,048 個の電球からスタートしました。現在は、大通公園と駅前通りを会場とするに至り、37 万個もの電球が飾られたシンボルオブジェや立木が東西・南北両方向に街を貫きます。



(URL) <http://www.sweb.co.jp/kanko/white/>

第 25 回さっぽろホワイトイルミネーションの開催概要

会 期	大 通 公 園 会 場 [大通西 1～8 丁目]	平成 17 年 11 月 18 日(金)～ 平成 18 年 1 月 4 日(水) 48 日間
	駅 前 通 り 会 場 [北 4 条～南 4 条]	平成 17 年 11 月 18 日(金)～ 平成 18 年 2 月 12 日(日) 87 日間
点 灯 時 間	16:00～22:00 (12 月 23、24、25、31 日は 24:00 まで)	
総 電 球 数	37 万個	
行 事 等	・ ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo 大通西 2 丁目 11 月 19 日 (土) ～12 月 11 日 (日) ・ カウントダウン 大通西 2・3 丁目 12 月 31 日 (土)	

2 札幌でのコンベンション開催状況

札幌での主なコンベンション開催見込み状況

(単位 件、%)

年 度	合 計		国際大会	全国大会	全道大会
	件 数	前年比	件 数	件 数	件 数
13年度	818	101.7	50	212	556
14年度	680	83.1	37	240	403
15年度	608	89.4	39	198	371
16年度	842	138.5	41	92	709
17年度	872	103.6	33	89	750

注) 関係機関、市内各大学各種団体に照会し、回答のあったものについて集計。

平成17年度分調査期間：2005年2月～2005年3月末

札幌コンベンションセンター稼働率（平成17年度）

(単位 日、%)

	利用日数	稼働率
大ホール	282	86.0
特別会議場	156	47.6
中ホール	263	80.2
小ホール	211	64.3
会議室(15室)	271	82.6

総来場者数	380,588 人
-------	-----------

注) 稼働率は、営業日数328日で計算。

国際コンベンション開催状況の他都市との比較

(単位 件)

2003年			2004年		
順位	都 市	件 数	順位	都 市	件 数
1	東京(23区)	715	1	東京(23区)	733
2	京都	222	2	大阪	254
3	名古屋	193	3	京都	224
4	神戸	168	4	名古屋	193
5	福岡	160	5	福岡	178
6	大阪	148	6	神戸	172
	横浜	148	7	横浜	156
8	つくば地区	90	8	千里地区	130
9	札幌	87	9	札幌	92
10	千里地区	62	10	つくば地区	78

注) 千里地区：豊中、茨木、吹田、高槻、箕面の5都市

つくば地区：土浦、つくばの2都市

(出典：国際観光振興機構(JNTO) コンベンション統計)

第5章 参考資料

1 観光施設の利用状況

主な観光施設入場者数

施 設 名	(単位：人)					
	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	各年度中 前年度比 %
モエレ沼公園	244,003	236,582	551,246	420,013	708,410	168.7%
滝野すずらん丘陵公園（含むオートリゾート滝野）	612,407	655,791	608,102	644,874	586,416	90.9%
円山動物園	740,755	705,332	653,091	630,565	503,846	79.9%
大倉山ジャンプ競技場	678,791	650,293	618,692	549,203	491,150	89.4%
サッポロさとらんど	359,160	457,100	345,220	262,390	478,040	182.2%
藻岩山	606,727	534,019	495,005	463,724	462,332	99.7%
北海道庁旧本庁舎	368,435	368,378	380,703	435,029	439,879	101.1%
札幌芸術の森	285,099	321,278	238,386	277,673	420,910	151.6%
羊ヶ丘展望台	547,353	504,638	504,192	448,552	419,666	93.6%
テレビ塔展望台	435,242	498,286	412,593	385,572	369,991	96.0%
札幌市青少年科学館	360,613	366,415	362,066	306,975	359,959	117.3%
J Rタワー展望台 T 3 8		117,700	725,095	398,445	320,274	80.4%
ISHIYA白い恋人パーク	191,152	207,836	243,663	317,713	283,258	89.2%
時計台	259,862	264,948	241,927	201,667	191,935	95.2%
北海道立近代美術館	401,385	435,285	240,506	374,392	181,449	48.5%
北海道開拓の村	218,840	217,574	218,929	203,914	178,225	87.4%
札幌市資料館	207,273	202,074	182,205	156,884	118,541	75.6%
札幌ドーム（ドームツアー、展望台等利用者）	301,613	152,860	128,085	100,314	115,738	115.4%
札幌ウィンタースポーツミュージアム	129,259	129,963	132,662	130,752	115,671	88.5%
サンピアザ水族館	113,317	119,062	114,910	116,251	115,659	99.5%
サッポロビール博物館	142,268	121,674	111,842	93,500	113,100	121.0%
豊平峡	97,142	93,853	110,270	93,536	91,978	98.3%
北海道開拓記念館	67,151	79,351	114,426	114,532	80,598	70.4%
豊平川さけ科学館	96,489	83,377	73,196	80,415	76,969	95.7%
北海道大学総合博物館	15,866	28,952	42,431	43,889	75,685	172.4%
北大附属植物園	83,533	77,815	76,719	50,544	53,567	106.0%
オートリゾート滝野	42,429	42,136	22,097	46,887	47,104	100.5%
札幌市アイヌ文化交流センター			10,133	43,323	39,970	92.3%
札幌市下水道科学館	42,128	37,525	36,664	31,102	34,998	112.5%
北海道立文学館	26,177	38,203	29,381	30,220	21,963	72.7%
雪印乳業史料館	74,644	39,631	20,161	21,494	19,220	89.4%
豊平館	26,386	24,422	22,431	18,319	16,780	91.6%
渡辺淳一文学館	13,567	14,734	15,676	14,876	14,696	98.8%
定山溪自然の村	19,417	25,366	28,121	25,482	13,168	51.7%
宮の森ジャンプ競技場	68,610	62,619	57,942	41,134	10,415	25.3%
清華亭	10,208	8,917	8,794	8,918	8,912	99.9%
エドウィンダン記念館	2,851	1,268	6,412	7,532	8,072	107.2%
札幌彫刻美術館	5,368	6,152	7,158	6,443	7,810	121.2%
札幌村郷土資料館	3,730	3,740	2,688	3,145	6,375	202.7%
琴似屯田兵村兵屋跡	8,532	8,699	8,310	4,325	4,675	108.1%
旧永山武四郎邸	10,701	11,266	8,929	10,388	4,032	38.8%
旧黒岩家住宅	3,281	3,750	3,095	2,842	2,902	102.1%
新琴似屯田兵中隊本部	457	1,552	1,247	1,228	1,493	121.6%
北海道鉄道技術館	452	1,363	1,072	813	900	110.7%

主な集客施設観客数

(単位：人)

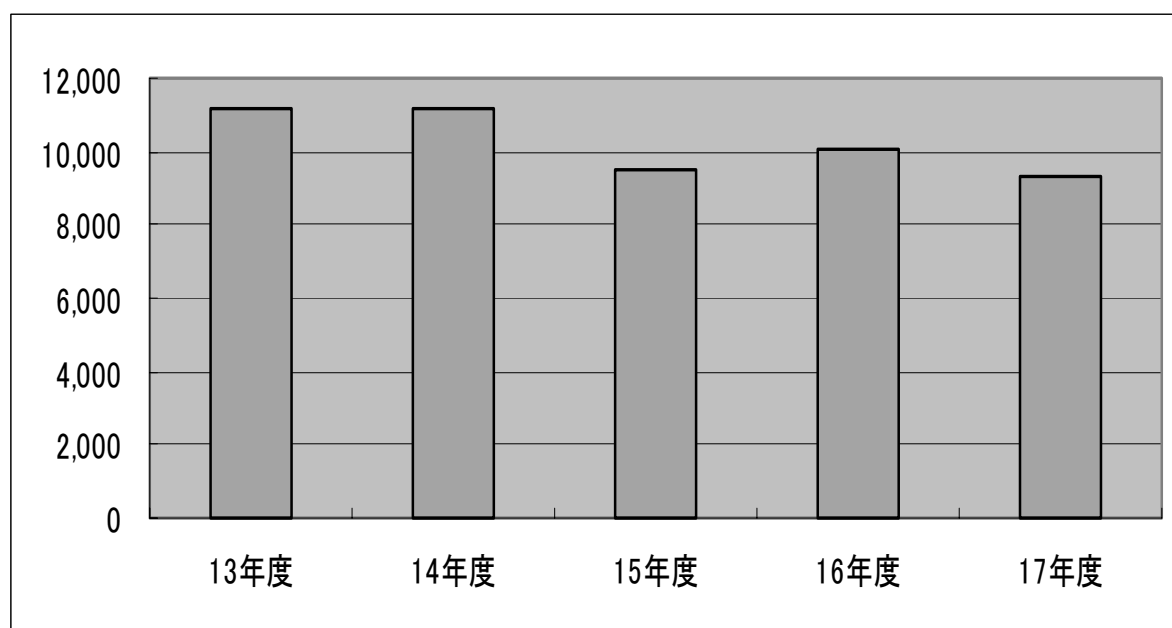
各年度中

施設名	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	前年度比 %
札幌コンサートホールKitara	322,325	340,997	355,241	382,290	395,257	103.4%
札幌ドーム	1,684,727	1,691,442	1,651,099	2,201,963	2,000,417	90.8%

スキー場リフト利用回数

年 度	合 計	サッポロ テ イ ネ	テイネハ イランド	テイネオ リンピア	コ バ ワール	ばんけい	藻岩山	真駒内	フッズ スノー エリア	札幌国際
リフト利用回数（千回）										
13年度	11,204		1,586	1,642	843	1,528	1,345	968	694	2,598
14年度	11,189		1,505	1,578	789	1,667	1,220	955	826	2,546
15年度	9,512		1,258	1,524	651	1,364	1,066	843	767	2,039
16年度	10,099		1,574	1,644	657	1,505	1,296	730	802	1,891
17年度	9,345	2,830			649	1,449	1,272	575	734	1,836
前年度比 （%）	98.2	87.9			98.8	96.3	98.1	78.8	91.5	97.1
平成17年度 営業期間		11/23 ～4/9			12/23 ～3/21	12/7 ～4/2	12/10 ～3/31	12/17 ～3/19	12/17 ～4/2	11/17 ～5/7

注）平成17年度より、テイネハイランドとテイネオリンピアの利用回数を、サッポロテイネの利用回数としています。



（対前年度比で、リフト利用回数が1.8%減少しています。）

2 定期観光バス利用者数（北海道中央バス）

（単位：人）

各年度中

コース名	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	前年度比(%)	備考
さっぽろ散策バス	48,092	69,917	48,305	36,034	31,241	86.7	
春の札幌コース	573	632	377	231	255	110.4	
すずらんコース	13,604	12,977	9,818	8,531	10,152	119.0	
アカシアコース	3,325	2,419					平成14年10月廃止
ハマナスコース			4,667	5,410	2,601	48.1	平成15年4月より運行
ライラックコース			4,352	2,473	2,378	96.2	平成15年4月より運行
札幌おもしろ名所めぐり	3,609	3,282					平成14年10月廃止
みどころ札幌コース			2,695	2,574			平成16年10月廃止
札幌一日コース	3,899	3,747	3,703	3,074	3,338	108.6	
夜の札幌コース	3,697	3,949	2,888	3,213	4,113	128.0	
ポプラコース	3,075	2,596					平成14年10月廃止
初冬の札幌コース	827	796	560	396	424	107.1	
冬の札幌コース	2,620	2,366	2,360	2,204	1,979	89.8	
白い恋人コース	6,835	6,194	4,696	3,121	2,992	95.9	
冬の大通公園と生ラムジンギスカン食べ放題		263					平成15年2月廃止
かに会席料理と地酒試飲コース			438				平成16年12月廃止
かに会席料理と羊ヶ丘展望台				606	472	77.9	平成16年4月より運行
さっぽろファンタジックナイト	447	167	169	365	420	115.1	
合 計	90,603	109,305	85,028	68,232	60,365	88.5	

3 札幌発着航空路線

平成18年8月1日現在

発着空港	地 方 道	路 線		航空会社
		都道府県	空 港	
新 千 歳	北 海 道	(宗谷支庁)	稚 内	A N A
			利 尻	A N A
		(網走支庁)	女 満 別	J A L
				A N A
			オホーツク紋別	T S Q
		(根室支庁)	根室中標津	H A C
		(釧路支庁)	釧 路	A N A
		(十勝支庁)	と ち 帯 広	H A C
	東 北	(渡島支庁)	函 館	T S Q
		青 森 県	青 森	T S Q
			三 沢	J A L
		岩 手 県	いわて花巻	J A L
		宮 城 県	仙 台	A N A
				J E X
		秋 田 県	秋 田	J A L
		山 形 県	山 形	J A L
			庄 内	A N A
	関 東	福 島 県	福 島	A N A
		千 葉 県	成 田	A N A
				J A L
				I B X
		東 京 都	羽 田	J A L
				A N A
				A D O
				S K Y
	中 部	新 潟 県	新 潟	A N A
		富 山 県	富 山	A N A
		石 川 県	小 松	A N A
		長 野 県	信州まつもと	J A L
		愛 知 県	中部国際	J A L
	近 畿	大 阪 府	伊 丹	A N A
				J A L
			関 西	A N A
				A N A
		兵 庫 県	神 戸	J A L
				A N A
	中 国	島 根 県	出 雲	J A L
		岡 山 県	岡 山	A N A
		広 島 県	広 島	J A L
				A N A
	四 国	徳 島 県	徳 島	J A L
		香 川 県	高 松	A N A
		愛 媛 県	松 山	A N A
	九 州	福 岡 県	福 岡	J A L
				A N A
		鹿 児 島 県	鹿 児 島	A N A
丘 珠	北 海 道	(渡島支庁)	函 館	A N A
				H A C
		(稚内支庁)	稚 内	A N A
		(根室支庁)	根室中標津	A N A
		(釧路支庁)	釧 路	A N A
		(網走支庁)	女 満 別	H A C

注) 航空会社欄のJALは日本航空、ANAは全日本空輸、HACは北海道エアシステム、ADOは北海道国際航空、JEXはJALエクスプレス、IBXはIBEXエアラインズ、TSQはエアトランセを示す。

(2) 国際線

平成18年8月1日現在

発着空港	路 線	航 空 会 社	便数
新 千 歳	ソ ウ ル	大 韓 航 空	週 7 便
	釜 山	大 韓 航 空	週 3 便
	グ ア ム	コ ン チ ネ ン タ ル 航 空	週 2 便
	香 港	キ ャ セ イ パ シ フ ィ ッ ク 航 空	週 4 便
	瀋 陽	中 国 南 方 航 空	週 2 便
	ユジノサハリンスク	サ ハ リ ン 航 空	週 1 便
	上 海	中 国 東 方 航 空	週 3 便
	台 北	エ バ ー 航 空	週 6 便
	台 北	チ ャ イ ナ エ ア ラ イ ン	週 9 便

4 気象概況

札幌管区気象台発表の数値を基礎に集計したものである。

年 度	気温 (°C)			日照時間 (時間)	降水量 (mm)	降雪量 (cm)	寒暖日数 ¹⁾			
	平 均	最 高	最 低				真夏日	夏日	冬日	真冬日
平 年 ²⁾	8.5	—	—	1,774.8	1,127.6	496	8	46	130	48
13年度	9.2	29.3	-11.7	1,710.7	1,162.5	417	0	54	116	45
14年度	8.5	30.6	-14.8	1,695.9	1,074.0	465	2	35	131	61
15年度	9.1	29.1	-11.0	1,752.6	1,027.5	386	0	34	118	30
16年度	9.3	33.2	-11.7	1,637.0	1,188.5	610	14	44	122	52
17年度	9.0	31.6	-12.3	1,668.2	1,176.0	558	9	52	107	53
平成17年4月	6.2	18.9	-3.8	123.2	55.0	10	—	—	2	—
5月	10.7	24.0	3.2	176.9	62.0	—	—	—	—	—
6月	18.3	31.5	10.5	194.9	51.0	—	2	10	—	—
7月	20.1	30.0	12.9	156.9	119.0	—	1	15	—	—
8月	23.5	31.6	14.8	201.2	114.0	—	5	21	—	—
9月	18.8	30.0	10.6	158.3	126.0	—	1	6	—	—
10月	13.2	23.0	4.8	169.0	72.0	—	—	—	—	—
11月	5.5	19.8	-1.6	106.2	150.5	4	—	—	12	—
12月	-2.6	6.3	-9.8	112.5	89.0	147	—	—	13	14
平成18年1月	-4.1	3.3	-12.3	66.8	132.0	189	—	—	31	22
2月	-2.7	7.7	-11.0	89.3	89.0	104	—	—	26	15
3月	1.3	8.7	-5.8	113.0	116.5	104	—	—	23	2

1) 真夏日とは最高気温が30.0℃以上の日、夏日とは最高気温が25.0℃以上の日、冬日とは最低気温が0.0℃未満の日、真冬日とは最高気温が0.0℃未満の日をいう。

2) 1971年から2000年までの平均値。

5 札幌観光のあゆみ

年 度	沿 革
大正11(1922)年	市制施行。
昭和2(1927)年	公会堂として豊平館新館完成。
6(1931)年	大倉山シャンツェ竣工。
11(1936)年	札幌観光協会設立。
12(1937)年	札幌－東京間定期航空開始。
21(1946)年	定山溪観光協会設立。
25(1950)年	第1回さっぽろ雪まつり開催。
26(1951)年	円山動物園開園。
28(1953)年	札幌－千歳間(国道36号線)弾丸道路舗装完成。
29(1954)年	第1回狸まつり、さっぽろ夏まつり開催。
32(1957)年	豊平館が中島公園内に移築。テレビ塔完成。
33(1958)年	藻岩山観光自動車道、もいわ山ロープウェイ営業開始。
34(1959)年	第1回さっぽろライラックまつり開催。ポートランド市と姉妹都市提携調印。羊ヶ丘展望台開設。
35(1960)年	市民の投票により札幌の花(スズラン)、木(ライラック)、鳥(カッコウ)を決定。
38(1963)年	第1回さっぽろ菊まつり開催。
40(1965)年	第1回定山溪かっぱ祭り開催。第1回すすきの祭り開催。
45(1970)年	時計台が重要文化財に指定される。90m級大倉山ジャンプ競技場完成。
46(1971)年	北海道開拓記念館オープン。
47(1972)年	第11回冬季オリンピック大会開催。政令指定都市へ移行し、7区役所開設。ミュンヘン市と姉妹都市提携調印。豊平峡ダム完成。
48(1973)年	札幌市資料館オープン。札幌観光協会社団法人化。
52(1977)年	「札幌の観光(観光白書)」発行開始。
53(1978)年	「カッコウの窓口」開設。すすきの観光協会設立。
54(1979)年	緑のセンター開設。25年ぶりに豊平川にサケ遡上。
55(1980)年	瀋陽市と友好都市提携調印。冬のスポーツ博物館オープン。本市の観光キャッチフレーズ「好きです。Sapporo」がロゴマークとともに決定。
56(1981)年	青少年科学館オープン。第1回さっぽろホワイトイルミネーション開催。
58(1983)年	北海道開拓の村オープン。百合が原公園開園。
59(1984)年	第1回札幌国際見本市開催。豊平川さけ科学館オープン。
61(1986)年	「国際観光モデル地区」の指定を受ける。第1回アジア冬季競技大会、'86さっぽろ花と緑の博覧会開催。札幌芸術の森一部オープン。
62(1987)年	第1回さっぽろ国際フェスティバル開催。

平成元(1989)年	定山溪ダム完成。はまなす国体開催。円山動物園に「タスマニア館」オープン。厚別・手稲区の誕生により、9区体制へ移行。
2(1990)年	「さっぽろ雪まつり」の中島会場を第4会場として設置。ノボシビルスク市と姉妹都市提携調印。PMF(パシフィック・ミュージック・フェスティバル)初開催。「観光基本計画」策定。
3(1991)年	ユニバーシアード冬季大会開催。定山溪に「メルヘンかっぱ像」20体設置。第1回定山溪もみじ大茶会開催。
4(1992)年	政令指定都市移行20周年記念事業メモリアルコンサート「さっぽろの歌」開催。定山溪観光協会社団法人化。観光客誘致キャンペーン「さっぽろの夕べ」初開催。第1回YOSAKOIソーラン祭り開催。
5(1993)年	大通公園(8-9丁目)連続化実現。第1回さっぽろふれあいフェスタ開催。すすきの観光協会社団法人化。
6(1994)年	「国際会議観光都市」の認定を受ける。リンケージ・アップ・フェスティバル初開催。阪神淡路大震災のため「さっぽろ雪まつり」の花火大会などを自粛。
7(1995)年	円山動物園にキッドランドと鳥類館オープン。サッポロさとらんど一部オープン。「おおば比呂司記念室」札幌市資料館内にオープン。YOSAKOIソーラン祭り普及振興会設立。札幌市観光産業経済効果調査結果発表。
8(1996)年	「さっぽろリンクルバス」登場。「石山緑地」完成。定山溪温泉「健康保養地」宣言。さっぽろホワイトイルミネーション「日本建築美術工芸協会賞 特別賞」受賞。2002年ワールドカップサッカー大会開催決定。青少年科学館リニューアルオープン。
9(1997)年	下水道科学館、札幌コミュニティドーム(愛称・つどーむ)、札幌コンサートホール「Kitara」オープン。道央三温泉協議会設立。札幌市営観光バスを廃止。清田区の誕生により10区体制へ移行。
10(1998)年	YOSAKOIソーラン祭り組織委員会設立。円山動物園「動物センター」、渡辺淳一文芸館、定山溪自然の村、モエレ沼公園オープン。さっぽろ夏まつりピアガーデンに地ビール登場。北海道国際航空(エア・ドゥ)就航。
11(1999)年	さっぽろ羊ヶ丘展望台「羊ヶ丘ウエディングパレス」、北海道立総合体育センター(愛称・きたえーる)オープン。
12(2000)年	大倉山ジャンプ競技場リニューアルオープン。札幌ウィンタースポーツミュージアムオープン。
13(2001)年	札幌ドーム「Hiroba」オープン。
14(2002)年	2002FIFAワールドカップ開催(札幌ドームで3試合開催)。ミュンヘン・クリスマス市in Sapporo開催。札幌駅南口にJRタワーオープン。
15(2003)年	札幌コンベンションセンターオープン。
16(2004)年	さっぽろ赤レンガカフェオープン。さっぽろら〜めん共和国オープン。千歳鶴ミュージアム・アネックスオープン。サッポロビール博物館リニューアルオープン。
17(2005)年	さっぽろライラックまつりで「ライラックワインガーデン」開催。第1回藻岩山の日。モエレ沼公園グランドオープン。定山源泉公園オープン。サッポロさとらんどがさっぽろ雪まつりの第2会場に。

6 平成18年度のイベントカレンダー

※日程・イベント名等は予定です。変更・中止の可能性があります。ご注意ください。

月	イベント名	日程	内容	会場	問合せ先 (市外局番011)	
5月	溪流鯉のぼり	4月15日(土) ～5月10日(水)	定山溪の溪流に400以上の鯉のぼりを掲揚する定山溪温泉の春の風物詩。	定山溪スポーツ公園ほか	定山溪温泉旅館組合	598-2537
	第48回さっぽろライラックまつり	5月19日(金) ～21日(日)	ライラック苗木のプレゼント、記念植樹、野だて、喫茶コーナー、音楽隊演奏など、札幌の木ライラックが満開の大通公園の春のイベント。	大通公園	実行委員会	211-2376
	藻岩山の日	5月31日(水)	標高531mにちなみ、ロープウェイ無料運行、クリーンハイキング、記念写真展などのイベントを行う。	藻岩山	事務局	211-2376
6月	花フェスタin赤レンガ	6月1日(木)～ 8月31日(木)	赤レンガ庁舎が花で飾られ、7月14日～8月13日にはビアガーデンやスイーツコーナーが展開されます。	赤レンガ庁舎 (北海道庁旧本庁舎)及び前庭	実行委員会	281-8739
	第15回YOSAKOIソーラン祭り	6月7日(水) ～11日(日)	自由で独創的な激しいリズムにのって約300チーム、4万人以上が乱舞する。飛び入り参加ができるワオドリソーランもあります。	大通公園ほか	組織委員会	231-4351
	北海道神宮例祭	6月14日(水) ～16日(金)	御輿、山車、露店など、昔ながらのお祭り。「郷土の日」を実感する通称「札幌祭り」です。	北海道神宮・札幌市内	北海道神宮	611-0261
	札幌商工会議所創立100周年「さっぽろ大商業祭」	6月21日(水) ～12月20日(水)	札幌市共通硬貨型商品券「クラークコイン」の発行、サマータイムに連動した市内商店街合同バーゲンなど。	札幌市内	札幌商工会議所産業3課	231-1375
	札幌商工会議所創立100周年「国宝鑑真和上展」	6月24日(土) ～8月20日(日)	日本最古にして最高の肖像彫刻「鑑真和上坐像」など、天平美術の粋である唐招提寺の至宝を一堂に披露。	道立近代美術館	札幌商工会議所創立百周年担当	231-1314
	花フェスタ2006札幌	6月24日(土) ～7月2日(日)	パビリオンでのラン展示他立体花壇や花モニュメントで初夏の札幌の街を美しく彩ります。	大通公園	事務局	219-3987

7月	PMF(パシフィック・ミュージック・フェスティバル2006)	7月8日(土)～8月3日(木)	若手音楽家を育成するとともに、音楽教育を通じて音楽文化の普及・発展をめざす国際音楽祭。	芸術の森ほか	組織委員会	242-2211
	豊平川花火大会	7月14日(金)、21日(金)、28日(金)	道新・UHB花火大会(14日)	豊平川南大橋付近	北海道新聞社、読売新聞社、朝日新聞社	道新210-5732 読売242-5630 朝日(特設)0180-9917-28
			読売新聞花火大会(21日)			
			朝日新聞・HTB花火大会(28日)			
	第24回札幌市長杯宮の森サマージャンプ大会	7月15日(土)	国内のトップ選手が集うノルディックスキージャンプ競技の大会。冬だけでなく夏でもジャンプ競技を観戦することができます。	宮の森ジャンプ競技場	札幌スキー連盟	221-1661
	UHB杯サマージャンプ大会2006	7月22日(土)		大倉山ジャンプ競技場		
	第7回札幌市長杯大倉山サマージャンプ大会	7月23日(日)				
	第32回豊平川イカダ下り	7月16日(日)	市民のチームが、手製のイカダで川を流れ下ります。ユニークなイカダやコスチュームでのパフォーマンスが楽しい。	豊平川南大橋上流	実行委員会事務局(中央区役所地域振興課内)	231-2400 内線256
	第53回さっぽろ夏まつり	7月21日(金)～8月20日(日)	約1ヶ月間、大通公園を会場に、ビアガーデン(7月21日～8月10日)、さっぽろバザールや北海盆踊り(8月14日～20日)など、様々なイベント等で夏を楽しみます。	大通公園	実行委員会	211-2376
	第53回狸まつり	7月21日(金)～8月20日(日)	さっぽろ夏まつりに併せて行われる、狸小路の夏まつり。歴史ある商店街の情緒ある祭り風情は、とても素敵です。	狸小路商店街	商店街振興組合	241-5125
	カルチャーナイト2006	7月21日(金)	普段は夕方で閉館する文化施設や民間施設で夜間開放を行う。普段はできない貴重な文化体験ができます。	北一条通りと札幌駅前通りを軸としたエリア	実行委員会	261-8633
札幌商工会議所創立100周年「こども未来博」	7月29日(土)～8月20日(日)	最新の科学技術、自然科学を通じ「驚きと感動」を体験できます。	月寒グリーンドーム	札幌商工会議所創立百周年担当	231-1314	
第19回さっぽろ旭山音楽祭	7月14日(金)	花火をバックに、札幌を一望する旭山記念公園のステージで700人の大合唱を鑑賞する野外音楽祭。	旭山記念公園	旭山うた祭りの会	561-9693	

8 月	定山溪温泉湯のにぎわいフェア	8月1日(火)～7日(月)	定山溪かつば祭りが名前も新たに生まれ変わります。	定山溪温泉街	定山溪観光協会	598-2012
	第42回すすきの祭り	8月3日(木)～5日(土)	屋台、花魁道中、みこし渡御、ワゴンセールなど、すすきのが一大イベント会場に。綺麗な花魁は必見です。	すすきの地区	すすきの観光協会	518-2005
	灯籠流し	8月15日(火)	毎年8月15日の行事。	鴨々川護国神社付近	妙心寺	511-7634
	さっぽろ「食」の大集合	8月26日(土)～27日(日)	さっぽろにゆかりのある「食」が大集合します。農畜産物やさっぽろスイーツの販売、スープカレーのイートインコーナー、ジンギスカン食べ歩きなどの催しがあります。	サッポロさとらんど	さっぽろ食と農夢の農業フェスタ実行委員会	787-0223
	2006北海道マラソン	8月27日(日)	国内・外の招待選手をはじめ一般ランナー合せ約3,000人がフィニッシュ地点の中島公園を目指します。札幌市内各地で選手の力走をみることができます。	真駒内屋外競技場スタート、中島公園フィニッシュ	北海道新聞社	232-0840
	札幌商工会議所創立100周年「パウル・クレイ創造の物語」	8月29日(火)～10月9日(月)	20世紀美術史を代表する芸術家パウル・クレイの油彩、版画など約150点を展示し、作品と思想のつながりを読み解きます。	道立近代美術館	札幌商工会議所創立百周年担当	231-1314
9 月	第6回「だい・どん・でん！」	9月2日(土)～3日(日)	札幌駅前通りの歩行者天国で、大道芸・アート・音楽のあらゆるジャンルのパフォーマンスが行われます。	駅前通(歩行者天国)	札幌都心にぎわいづくり実行委員会事務局	231-3828
	リンケージ・アップフェスティバル2006	9月2日(土)～3日(日)	全道各地の特産品、郷土芸能を一堂に集め、味覚を楽しみ、交流を深めます。旬の食材は大人気で、大通公園が巨大市場となります。	大通公園(5丁目～8丁目)	実行委員会	290-1313
	第29回北海道を歩こう	9月3日(日)	真駒内からスタートし支笏湖まで33キロを歩くウォーキングイベント。	真駒内～支笏湖	札幌市スポーツ振興事業団	530-5550
	札幌国際短編映画祭	9月6日(水)～10日(日)	札幌市において将来性が期待されるデジタルコンテンツ分野の中でも、短編映画(ショートフィルム)の産業化を推進するため、国際映画祭を札幌で開催します。	札幌東宝プラザ他	SAPPORO ショートフェスト実行委員会	817-8924

9 月	フードランド北海道2006	9月8日(金)～ 10月9日(月)	全道各地で観光・物産PR、体験イベントを開催。 札幌市内では、北海道産食材を使ったオリジナル料理が大通公園等で味わえます(9月8日～10日)。	大通公園(2丁目、5丁目～8丁目)他	実行委員会	231-1122
	札幌商工会議所創立100周年「日本のまつり」	9月9日(土)	北海道並びに全国有数のお祭りを札幌ドームで一堂に披露。	札幌ドーム	札幌商工会議所創立百周年担当	231-1314
	第12回日本そば博覧会 in さっぽろ	9月16日(土)～ 18日(月・祝)	全国のそば産地で毎年行われている博覧会が、初めて札幌で開催されます。全国の手打ちそばのPR・販売、そばの製粉体験などの催しがあります。	サッポロさとらんど	さっぽろ食と農夢の農業フェスタ実行委員会	787-0223
	アシリチェップノミ (新しい鮭を迎える儀式)	9月18日(月・祝)	アイヌ民族の伝統行事「新しい鮭迎えの儀式」で、途絶えてからおおよそ100年ぶりに昭和57年から復活した。	豊平川南7条大橋上流左岸河川敷(南7条西1丁目)	札幌アイヌ文化協会	682-5407
	簾舞通行屋(みすまいうこうや)まつり	9月24日(日)	札幌市指定文化財・旧黒岩家住宅で催される簾舞地域の交流イベント。	旧黒岩家住宅(旧簾舞通行屋)	旧黒岩家住宅(旧簾舞通行屋)保存会	596-2825
10月	第31回札幌マラソン大会	10月1日(日)	小学生の2kmから大人の21kmまで幅広く参加できる市民マラソン大会。	真駒内屋外競技場スタート	札幌市スポーツ振興事業団	530-5550
	第16回定山溪もみじ大茶会	10月9日(月・祝)	定山溪温泉内の6会場(ホテル)で、本格的なお茶会が開かれます。	定山溪温泉	定山溪観光協会	598-2012
	2006さっぽろ菊まつり	10月31日(火)～ 11月3日(金・祝)	大輪や懸崖など、市民の自慢の力作が地下街に大々的に展示されます。	札幌地下街	実行委員会	211-2376
11月	さっぽろアートステージ2006	11月1日(水)～ 30日(木)	札幌市の芸術文化月間と位置付け、演劇、ストリートライブ、小中高校生の音楽祭等、文化的事業を集中的に行います。	市内各所	実行委員会	211-2261
	札幌商工会議所創立100周年「サッカー日本代表『アジアカップ予選ラウンド最終戦』」(予定)	11月15日(水) (予定)	4年に1度開催される「AFCアジアカップ」の予選ラウンド最終戦として日本代表とアジア強豪国の試合を予定。	札幌ドーム	札幌商工会議所創立百周年担当	231-1343
	第26回さっぽろホワイトイルミネーション	大通 11月17日(金)～ 19年1月4日(木) 駅前通 11月17日(金)～ 19年2月12日(月)	メインオブジェ、立木装飾など、幻想的なイルミネーションが、札幌駅前通、大通公園を鮮やかに彩ります。	大通公園・札幌駅前通	札幌観光協会	211-3341

11月	ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo	11月22日(水)～12月17日(日)	姉妹都市ミュンヘンのクリスマス市を大通公園に再現します。異国情緒豊かで、本場ドイツのワインやビール、ソーセージなど特産品が味わえます。	大通公園 2 丁目	クリスマス実行委員会	211-2032
12月	SNOWSCAPE MOERE (スノースケープモエレ)	12月中旬～19年2月上旬(予定)	ガラスのピラミッド周辺が4つの芸術に彩られ、幻想的なスノーキャンダルを見ながらのコンサート、モエレの雪原に誕生する壮大な雪の村を体感できます。	モエレ沼公園	モエレ沼公園管理事務所	790-1231
	COUNTDOWN SAPPORO 2006	12月31日(日)～19年1月1日(月)	テレビ塔の電光時計を見ながらカウントダウンを行います。毎年多くの人が参加し、盛り上がりを見せています。	大通公園 2・3 丁目	事務局	241-0857
2月	第58回さっぽろ雪まつり	19年2月6日(火)～12日(月・祝)	いまや、世界的にも有名になっている、雪国最大のイベント。300基を超える雪氷像が、大通公園やすすきのの会場で堪能できます。雪で出来ているとは思えない精巧な大雪像は、高さ15メートルにも及びます。	大通公園・サッポロさとらんど・すすきの	実行委員会	211-2376
	2007年FISノルディックスキー世界選手権札幌大会	19年2月22日(木)～3月4日(日)	大会史上初めてアジア地域・札幌で実現。世界のトップアスリートがジャンプ、クロスカントリー、複合を競います。	大倉山ジャンプ競技場、白旗山競技場他	(財)2007年FISノルディックスキー世界選手権札幌大会組織委員会	281-2007